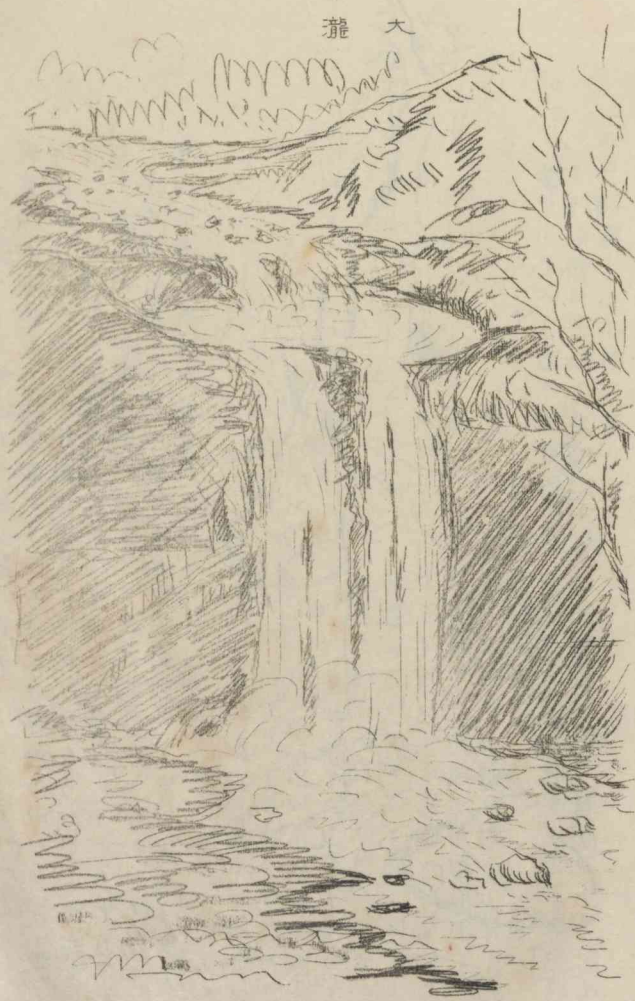
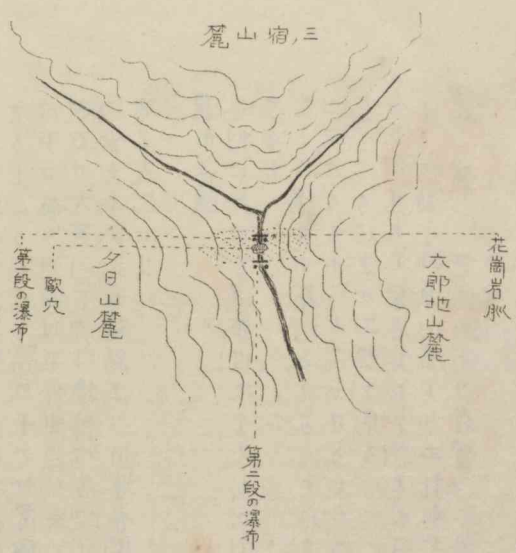


大瀧



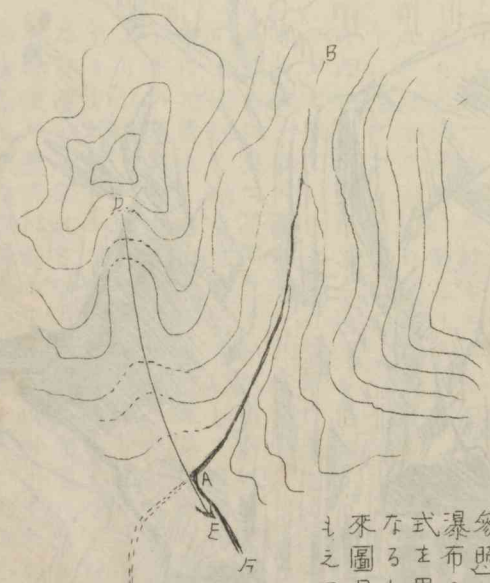
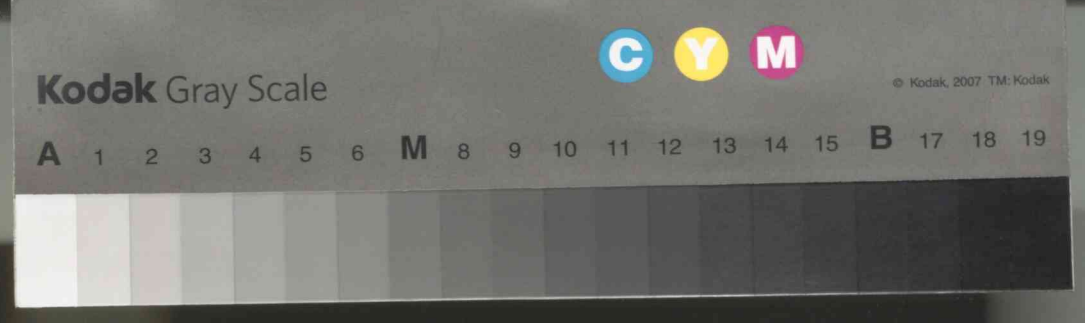
三宿山麓



出現す即ち岩石の軟

度により侵蝕の相異なり。この瀑布は本村第一の瀑布にして直下九米落口は三米途中に二段に相異なる原因は前述の如く侵蝕の相異に由りてなるものにして途中に穴を生ぜし所の岩石は元花崗岩の基盤の上の粘板岩及大理石より成れる岩ありしもの侵蝕せらるるに歐穴を生じ之に水をたし、一あふれて才二段の瀑布となれり。第二段の瀑布は第一段の瀑布の出来る以前に於て上流より侵蝕し來りし本流は此の地夾に於て花崗岩の脈状隆起に會つて侵蝕の統一を失ひ花崗岩の脈状をなして突出し以前の姿をなし居るも下流は以前の侵蝕をせられて第二段の瀑布の相異なり。





三不動瀧……小樽にあり
 本村の奥地小樽村境より
 量は少なきも直下十七米余にして

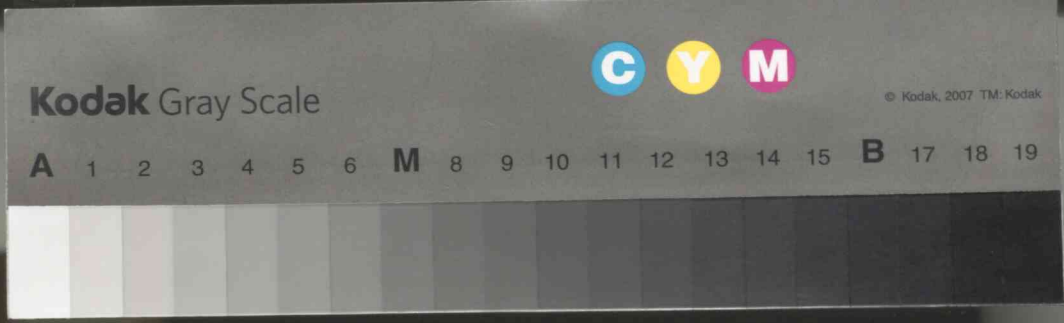
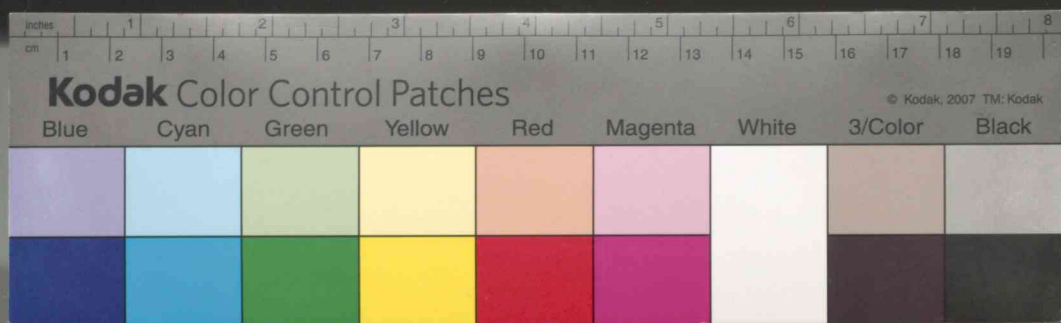
瀑布の原因は他の瀑布と異なり、
 式を異にして、雨の被覆作用より
 なるものにして、瀑布の河道は元
 来のものにして、直角に近きりた
 るに、対して、直角を生じたりた
 るに、今迄、河底なりし、岩石
 は、流出せられし、爲に、Aな
 る地、崖を、生じ、今、Aな
 る、Bに、於て、瀑布と、な
 る、Aに、於て、瀑布と、な
 る、り、現在、に、於て、は、



上年保瀧

二上年保瀧……上年保瀧の夕日、山麓にあり
 大芦川の支流の、大瀧の、下、方、に、あり
 て、流出する、支、流、の、侵、蝕、作用、より、非、なる、相、異、を、出、現、し
 二十、五、米、あり、途、中、幾、段、か、に、な、り、て、散、り、玉、と、く、た、け、て、落、下
 して、本、流、に、そ、り、中、孫、観、覧、者、を、し、て、何、れ、も、女、性的、なる、美、を
 思、は、せ、る、か、又、は、白、龍、昇、天、の、如、く、に、も、見、ゆ



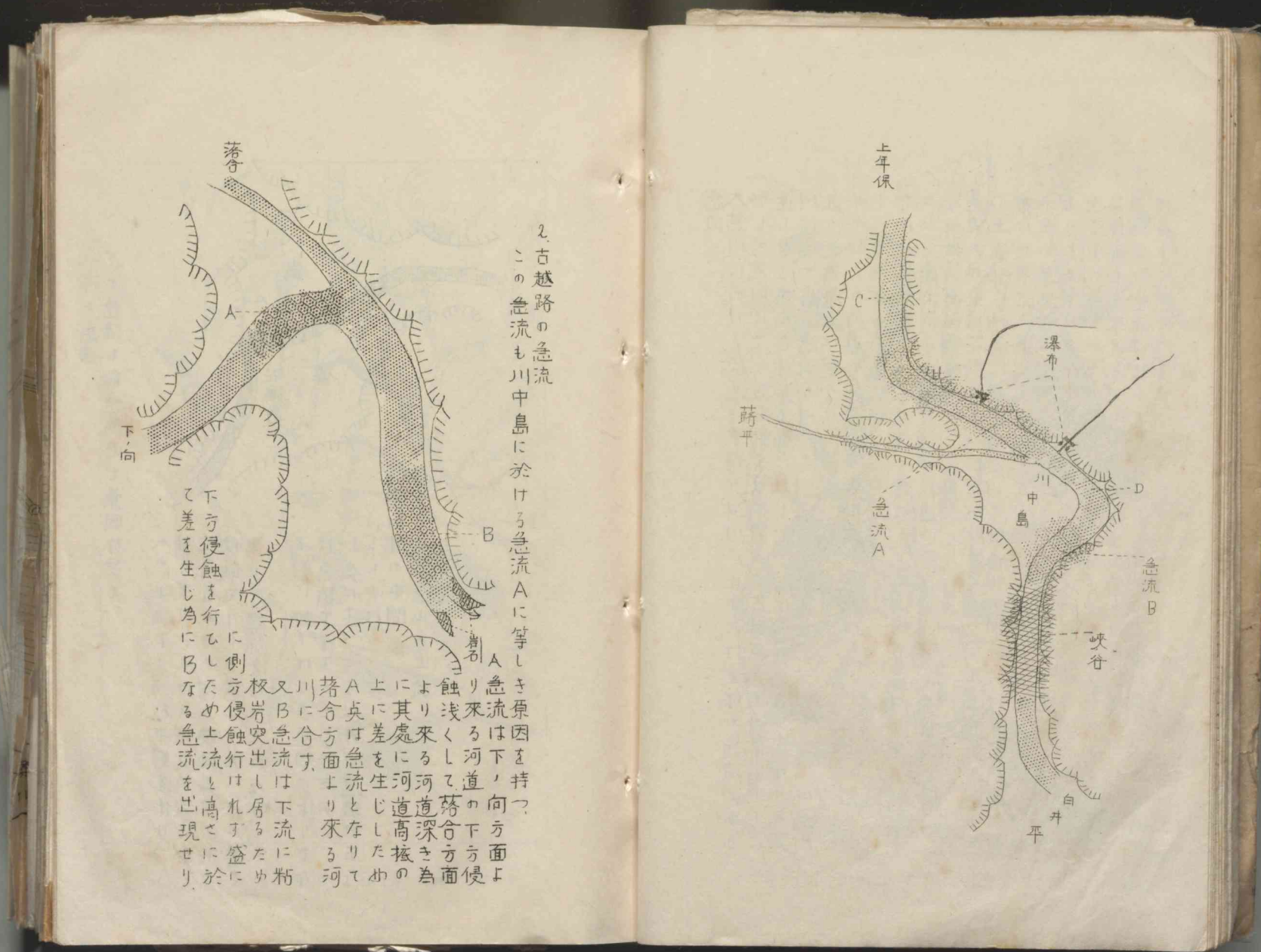
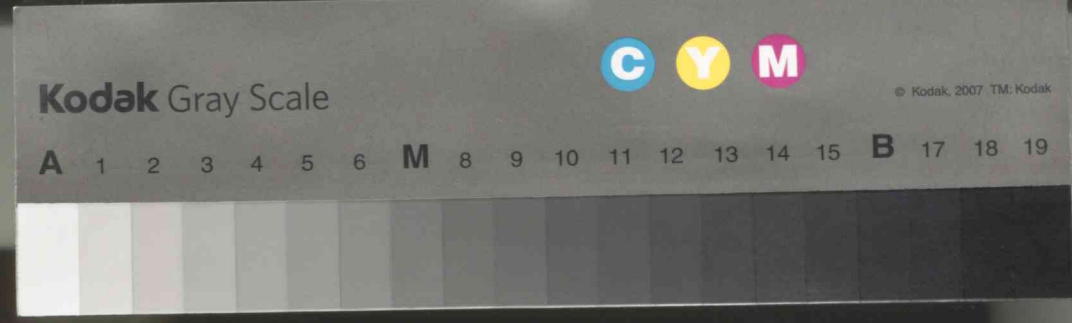
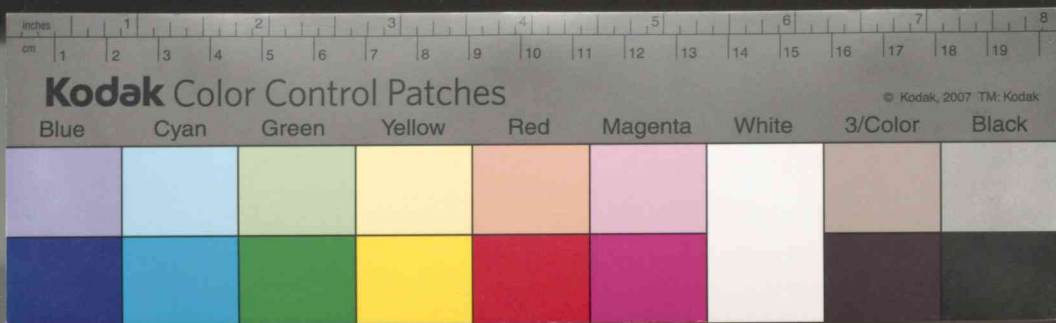


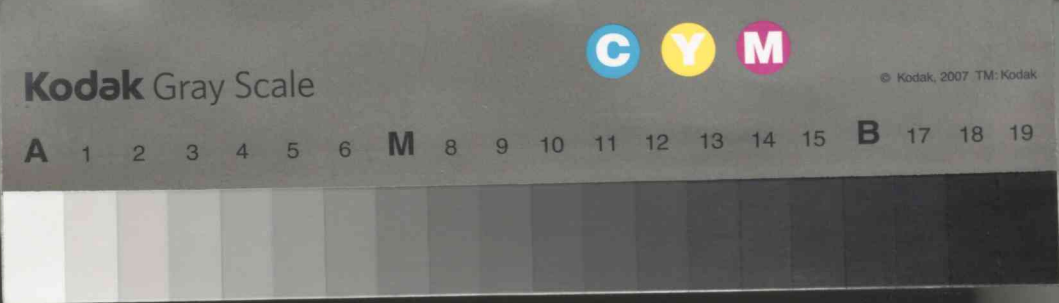
急流 大川に於ける流速は平野の河川に比すれば全体が急流である
然し大川に於ける流速は平野の河川に比すれば全体が急流である
達し居る為白井方面に比して一般に流れゆるやかなり大川
川にて一番急流と云ける、は白井平より上流にして川中島附
近の急流最も壯観なり
此の地方の河川の急流なる理由は一般的に云ふと河川がグー
ドに達せざる為なり
三。此の方面にて急流と思はる所は川中島附近なり此處は
急流のA地は花崗岩と粘板岩脈状をなして河道を横断し居り
常の上流部C地は花崗岩と粘板岩脈状をなして河道を横断し居り
米余の地を依りたれり然してD地は花崗岩と粘板岩脈状をなして河道を横断し居り
よりD地は花崗岩と粘板岩脈状をなして河道を横断し居り
至るD地は花崗岩と粘板岩脈状をなして河道を横断し居り
平方面より急流は其の下流に侵蝕作用の力を合したるものなり
地B地より急流に至る間に差を生じ急流となれるものと思はる



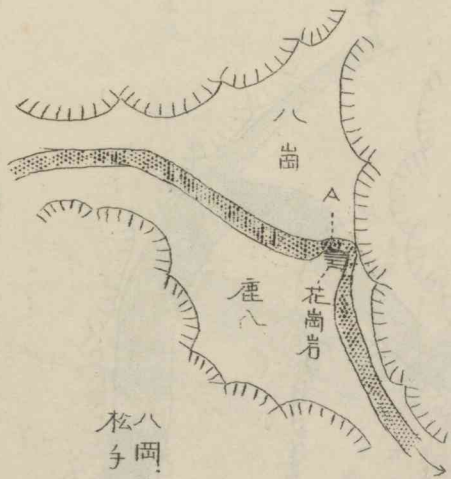
492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料







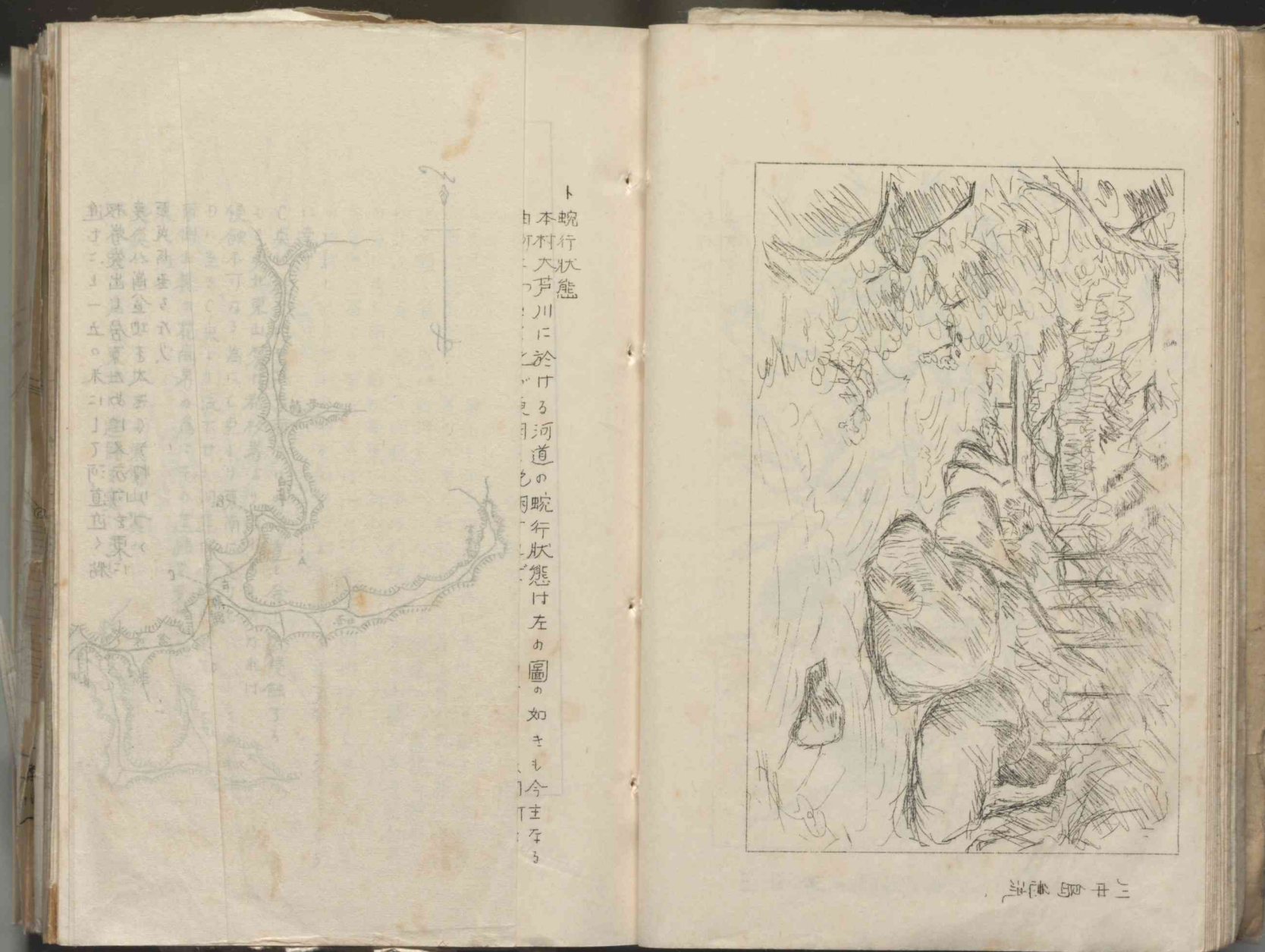
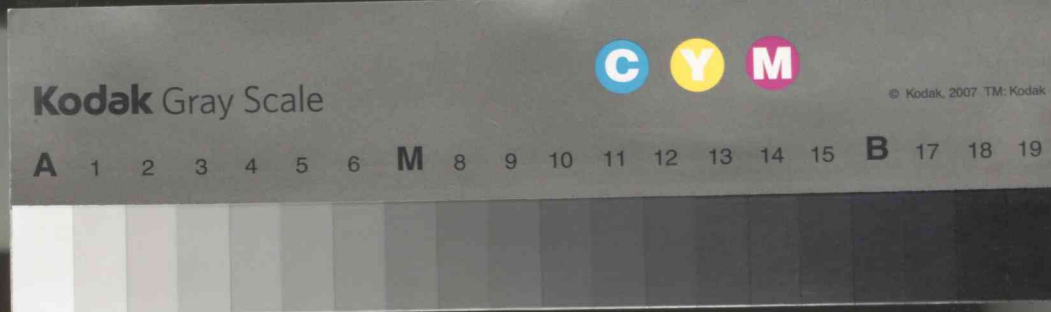
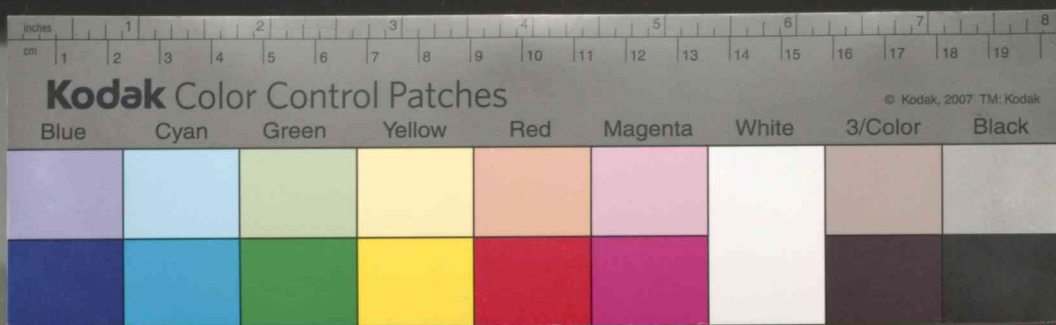
三井川の急流 (表里河)

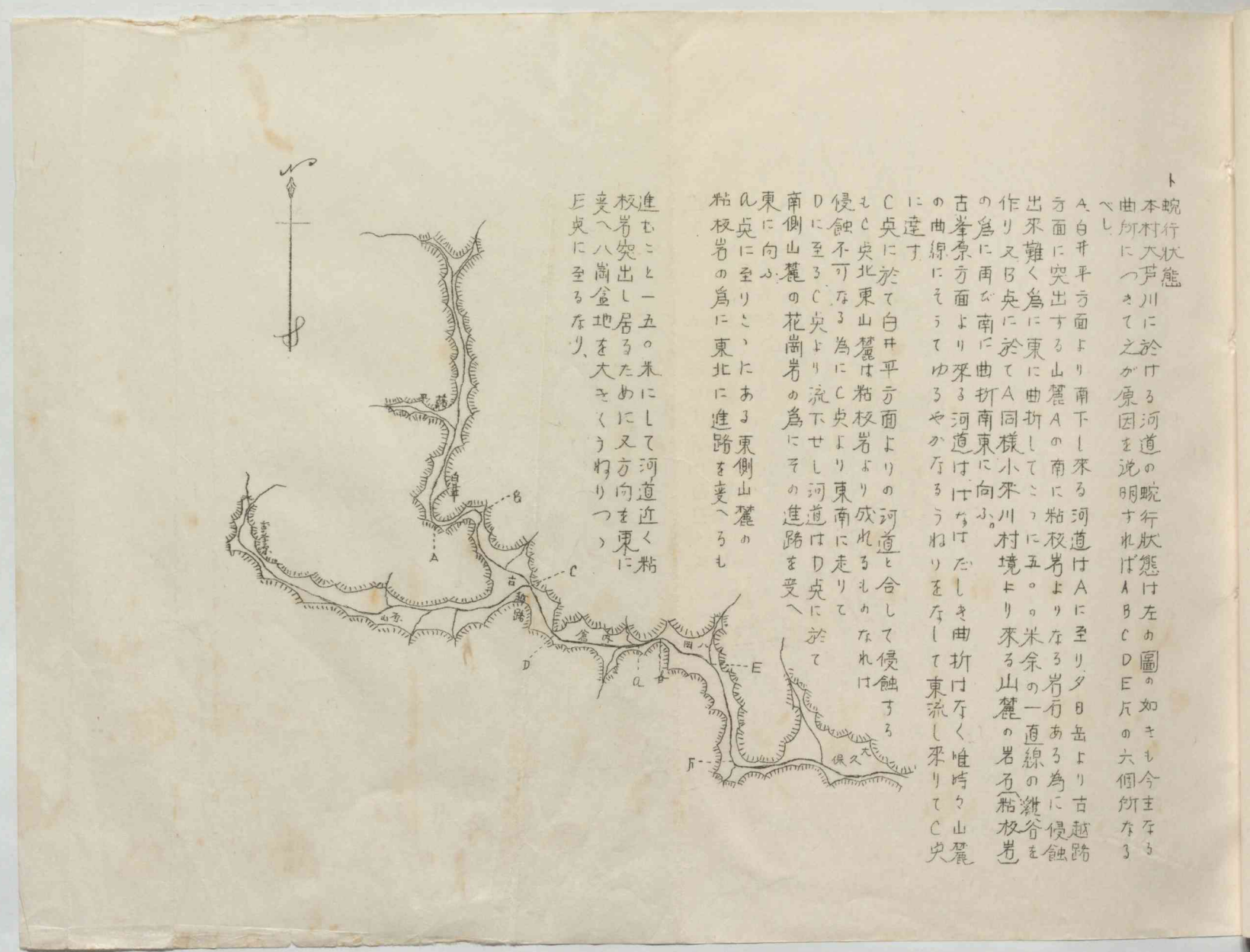
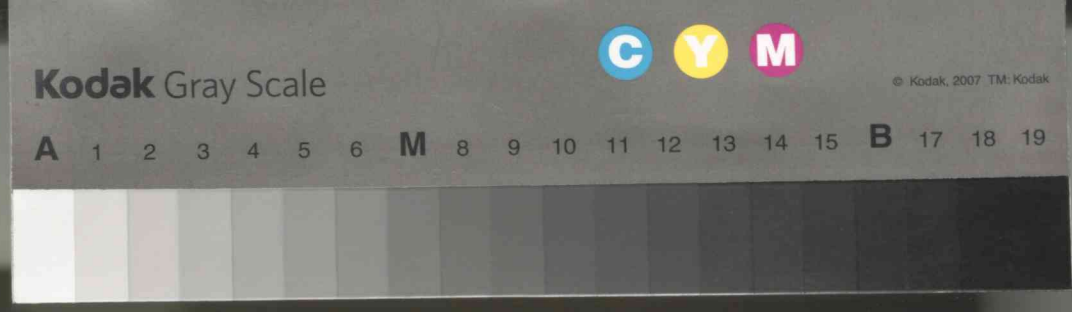


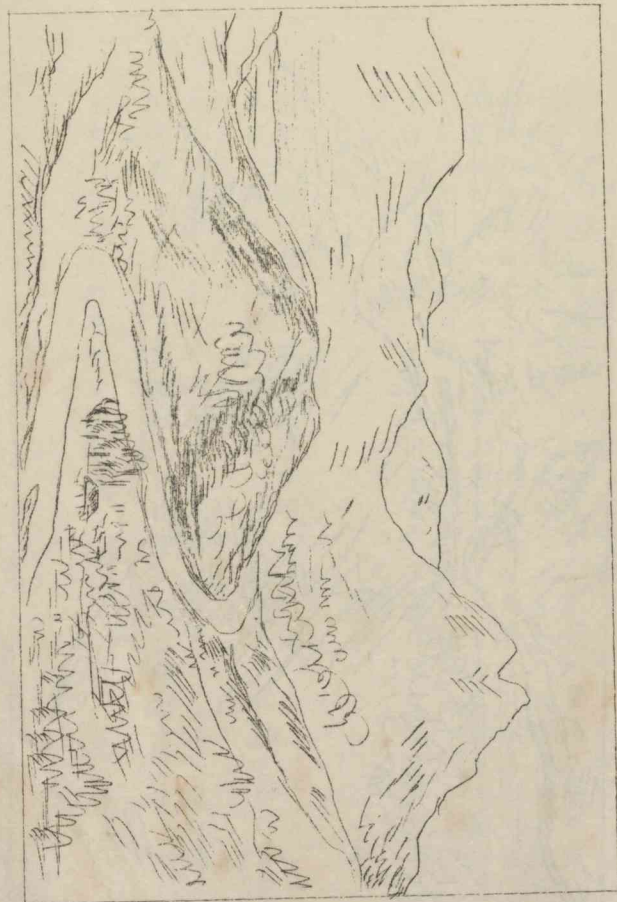
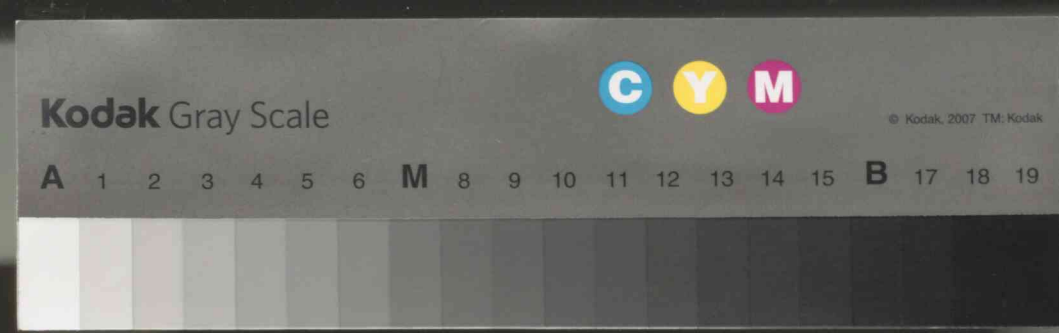
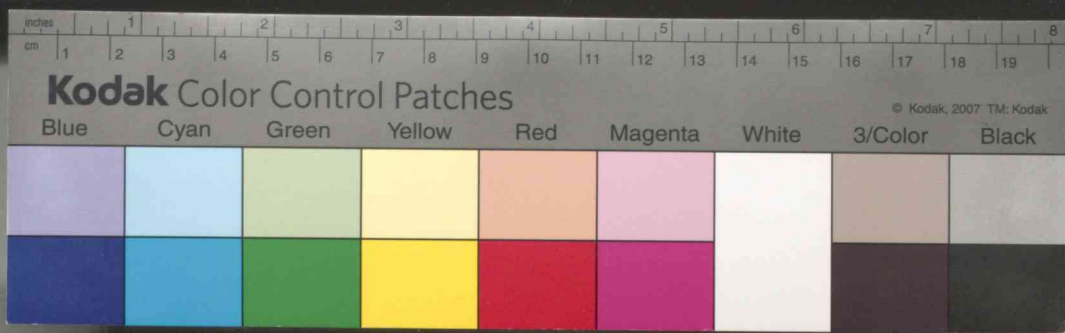
3. 八岡の急流
この急流も前急流Bと原因は等し

八岡上流より河成平野を作りつ、
流れ来れし水けA地真流に於て、
花崗岩かため側方侵蝕出来ず下流
侵蝕を存して流下す為Aに差を
生じて急流となりたるなり。
本村に於てはこの原因によりてな
ほ急流をなすところニ三あり
此處に述べざる以外急流の主な
るものは
八岡内倉の間、
松手の下流原山の上流
などなり。





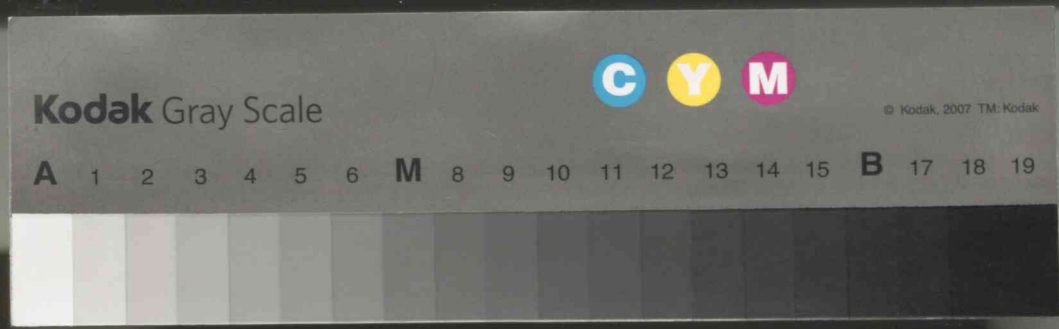




河邊の地形概略（同上、大久保）

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a field notebook or travel diary, describing the terrain and surroundings.





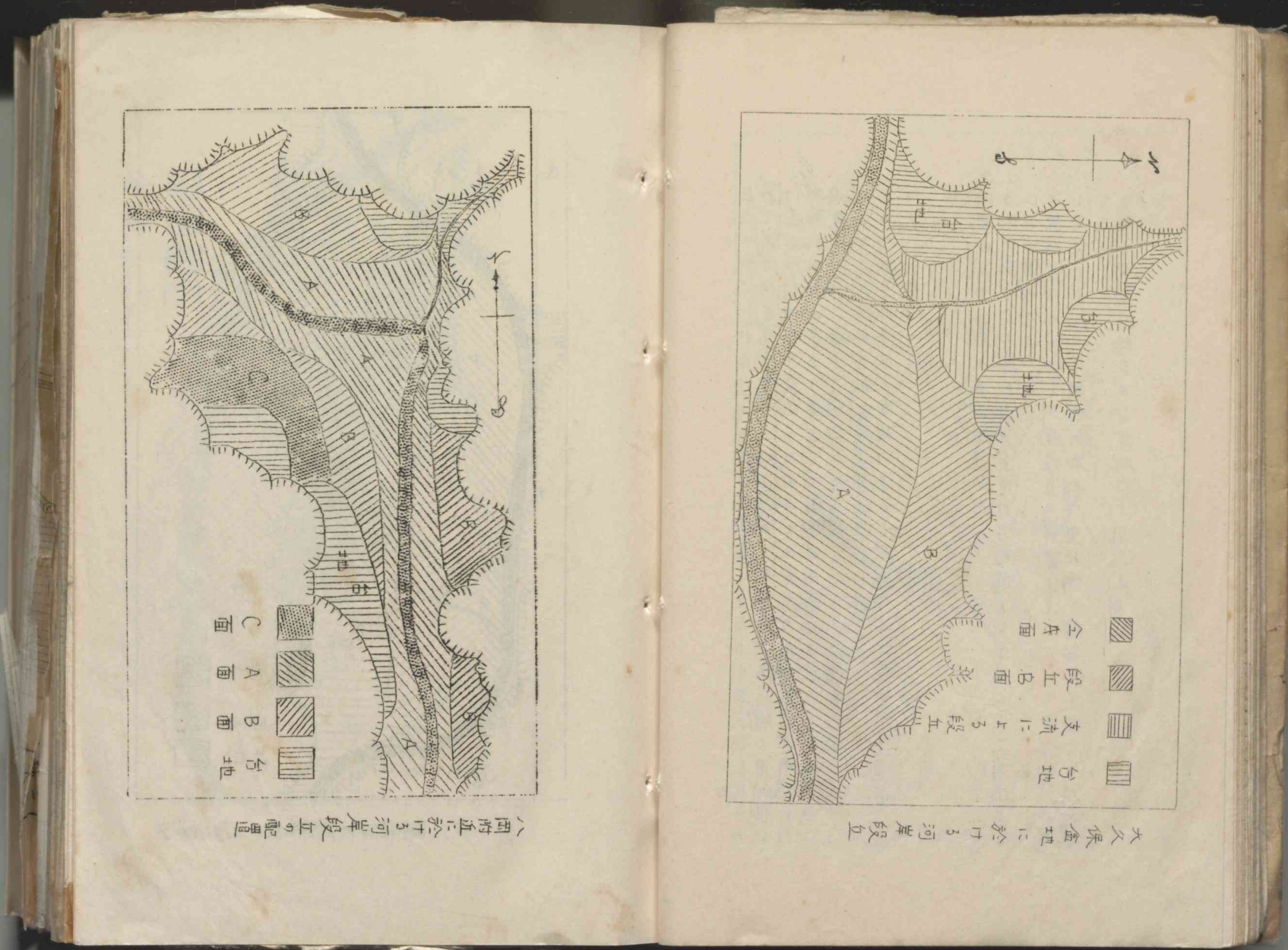
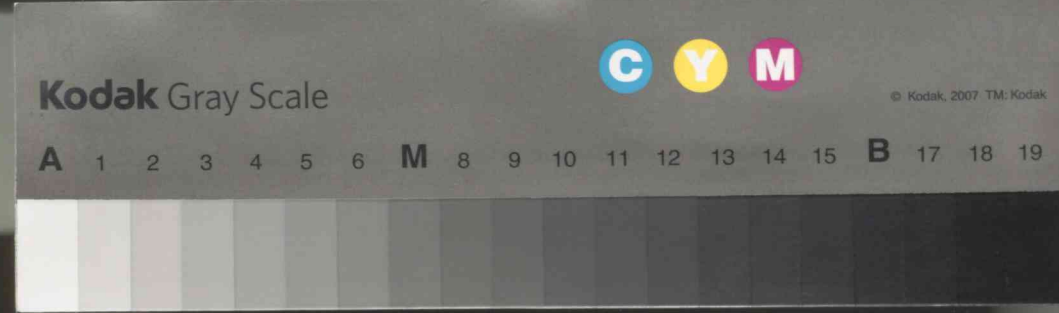
子河岸段立の有無と其の配置状態
 本村に於ては河岸段立の発達は古越路より下流にして上流原山
 にあるのみならず、大芦川を中心をなし、現在の本村は東北側の隆起したることは確実
 である。それによりて、現在の本村は東北側の隆起したることは確実
 である。それで今次に段立の発達状態を图示しよう。

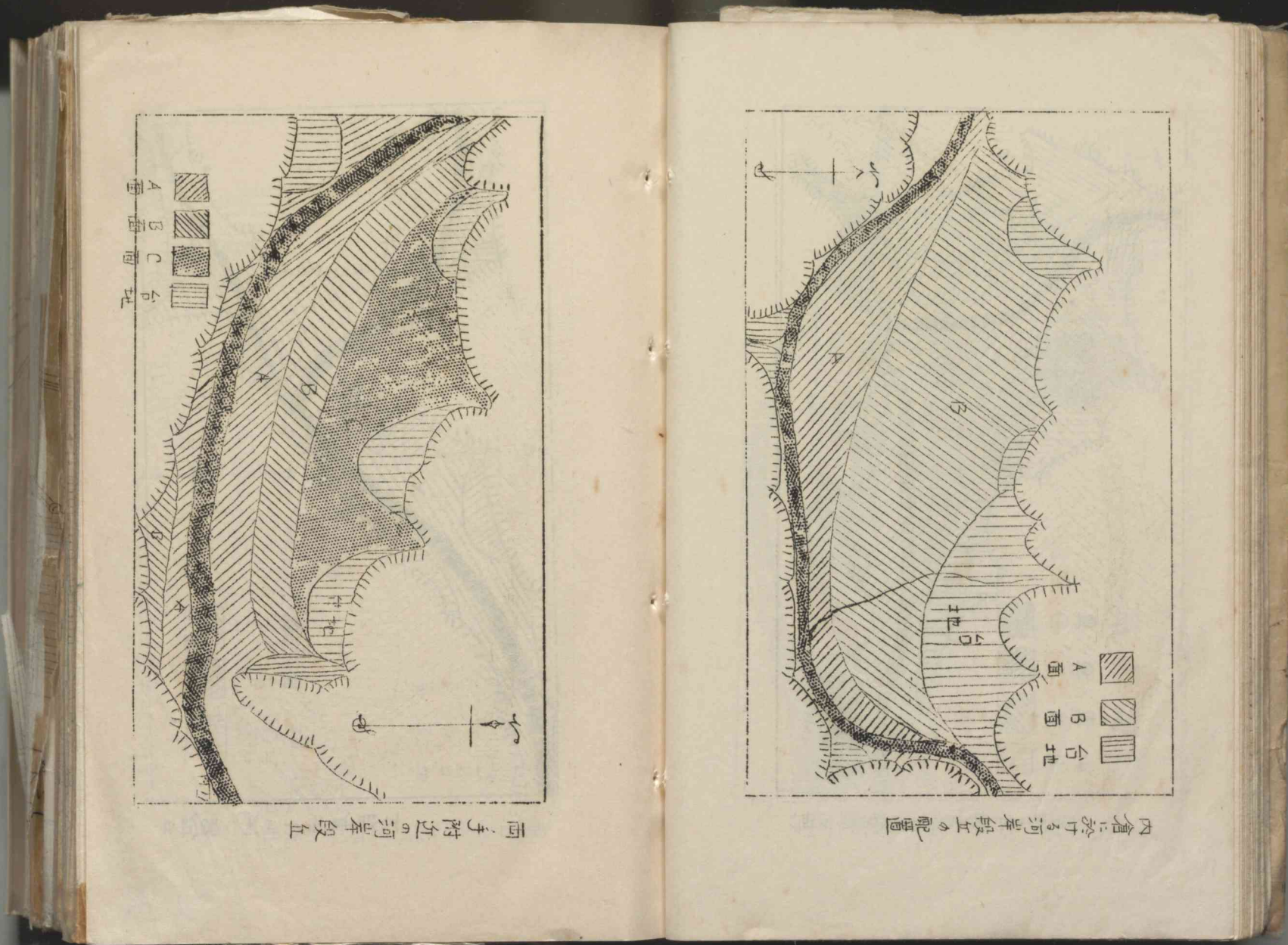
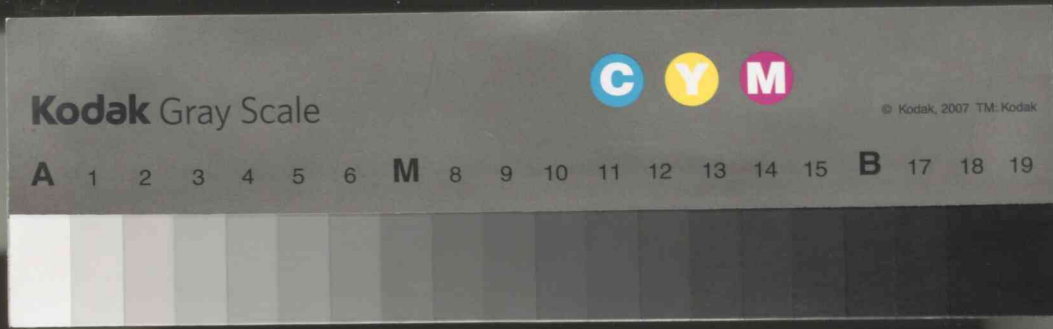
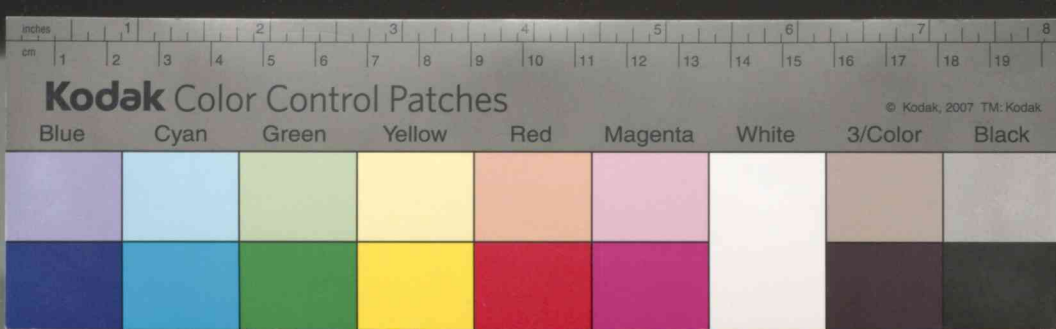
巨尾に於ては行幸北より東に花崗岩よりなる山脈突出し居るた
 めて又方角を南に変へ中畑を過ぎて斤奥に至る斤奥の東北側には
 小来川村境より突出したる五七の山塊あり又南側には
 蘇村境の山系より突出して山麓花崗岩より成るものあり為
 河道はこれに於てこの西山麓を通りしため進路を又東に変へり
 そして大久保の金地を通り東大芦村に進む
 その他所々に流水の曲折けあるも洪濶地によりて年々変大なれ
 ば之に記述せず

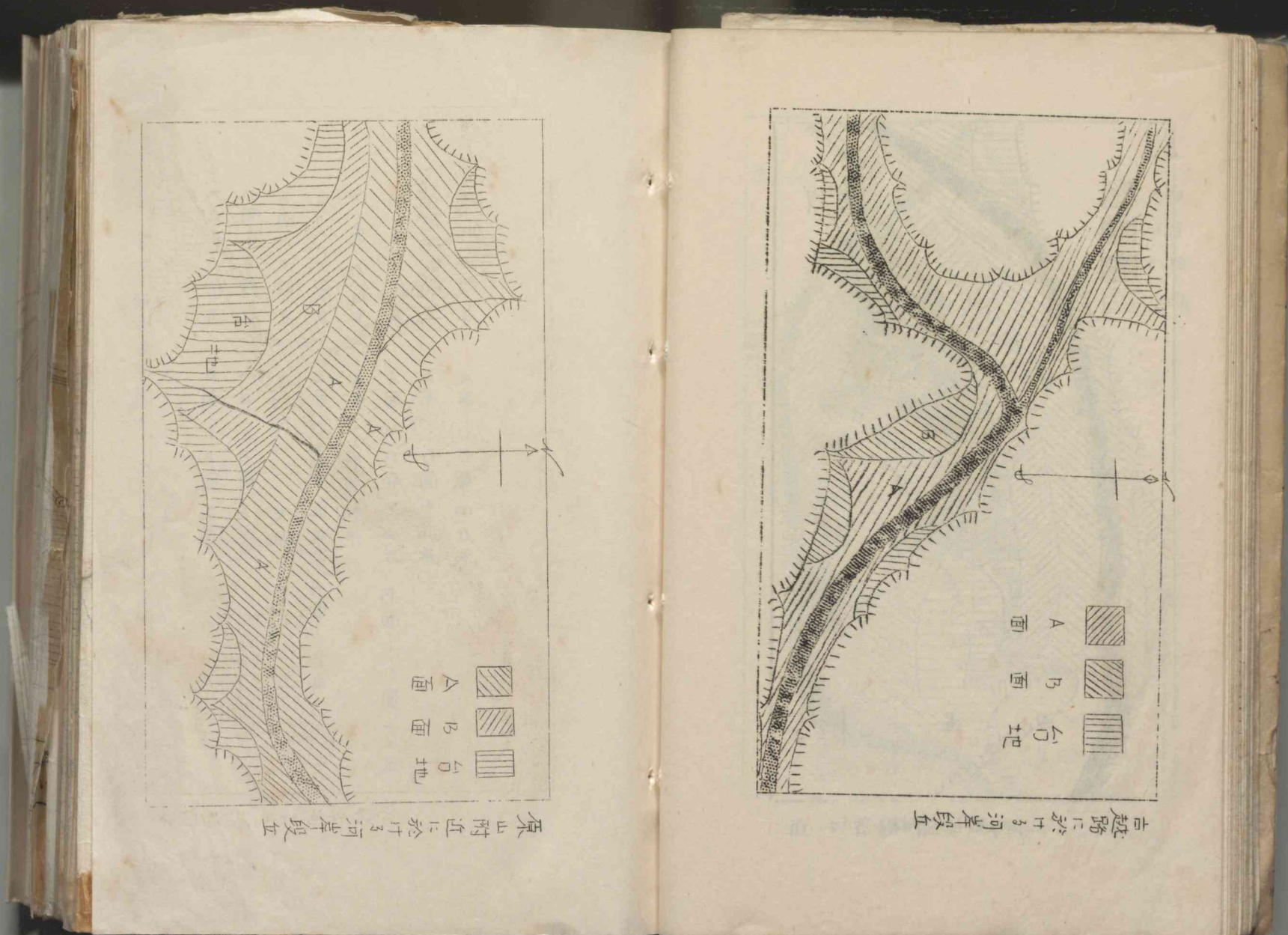
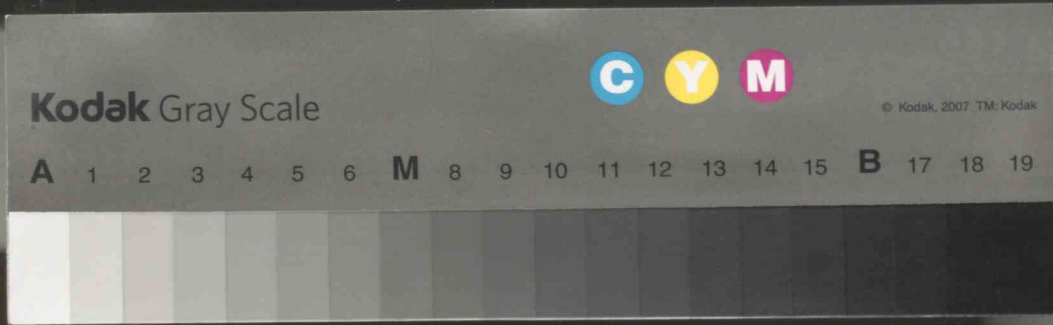


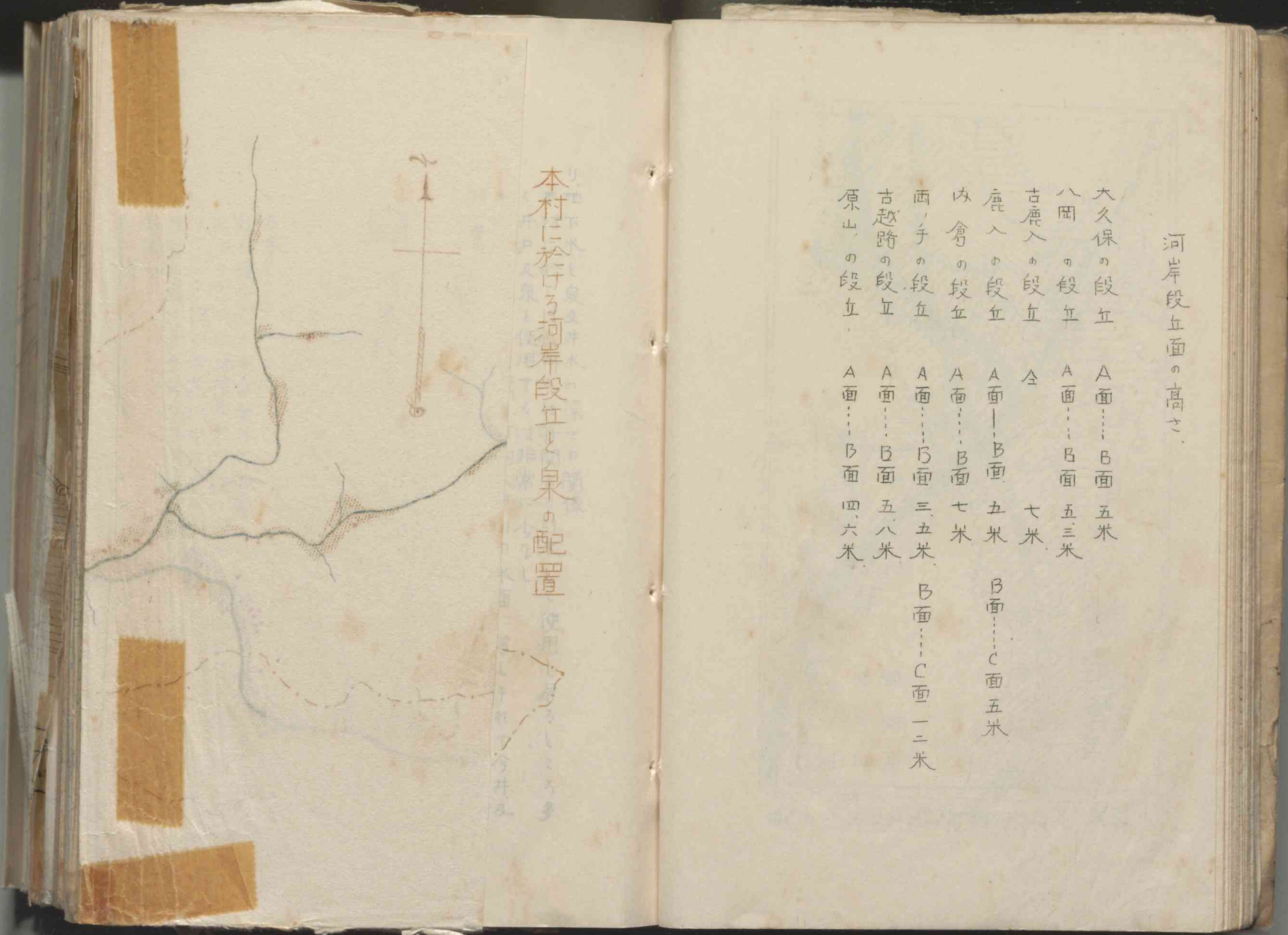
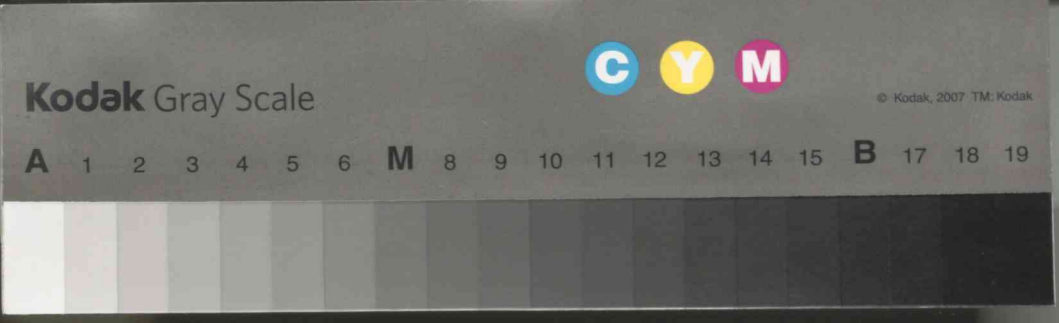
河道。航行状態（尺倉八回附近）









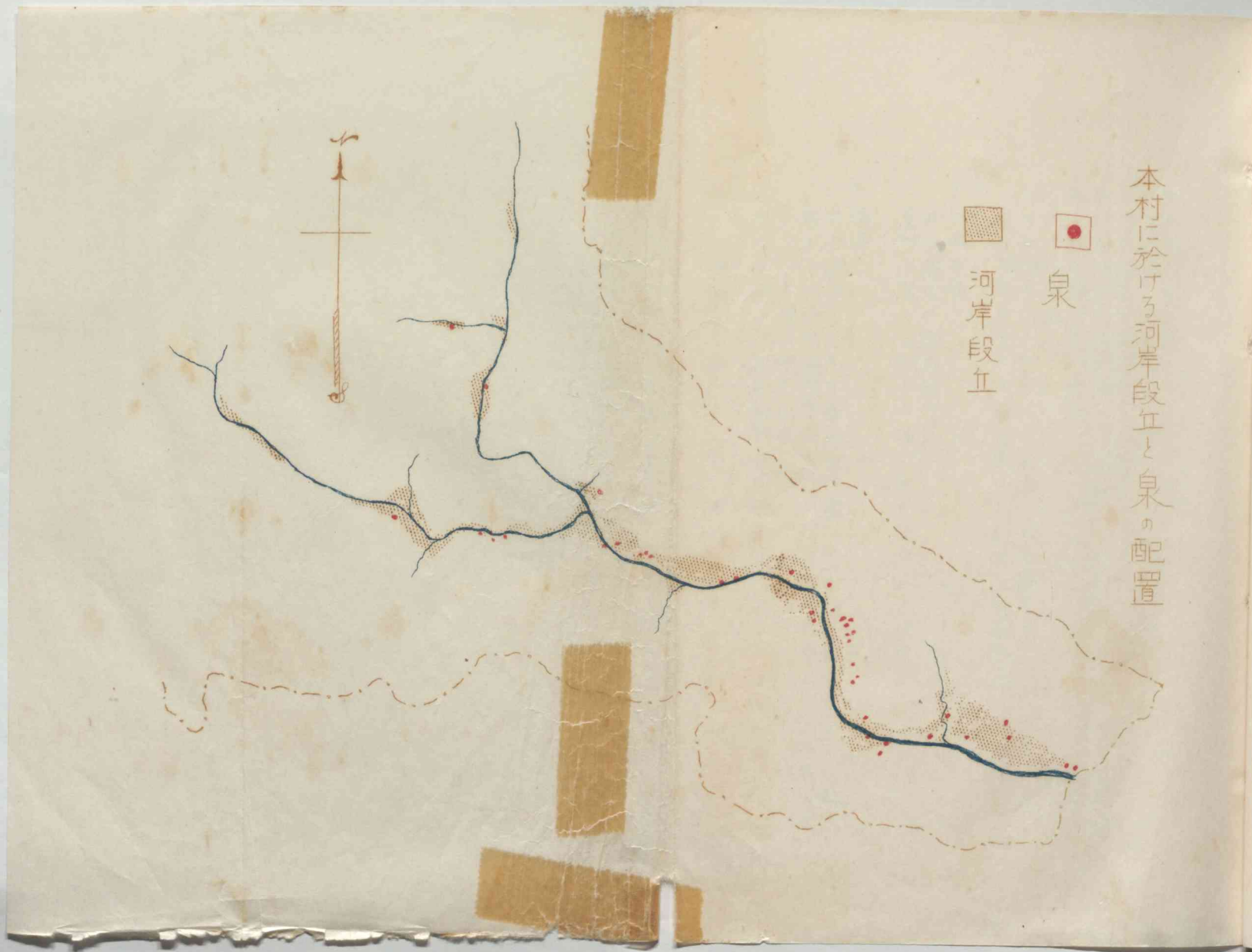
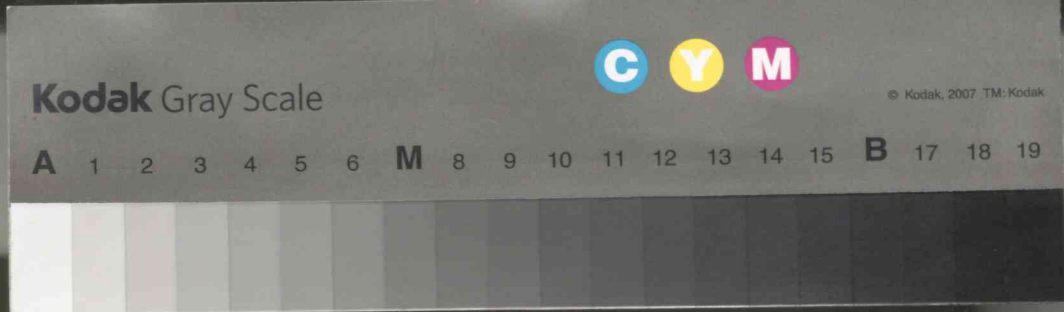
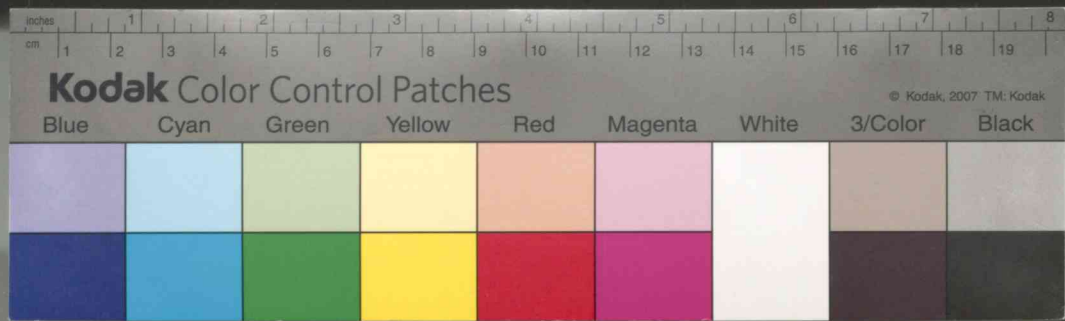


本村に於ける河岸段立と泉の配置

河岸段立面の高さ

- 大久保の段立 A面……B面 五米
- 八岡の段立 A面……B面 五三米
- 古鹿入の段立 全 七米
- 鹿入の段立 A面……B面 五米 B面……C面 五米
- 内倉の段立 A面……B面 七米
- 西ノ手の段立 A面……B面 三五米 B面……C面 一二米
- 古越路の段立 A面……B面 五八米
- 原山の段立 A面……B面 四六米

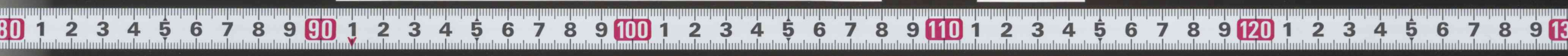


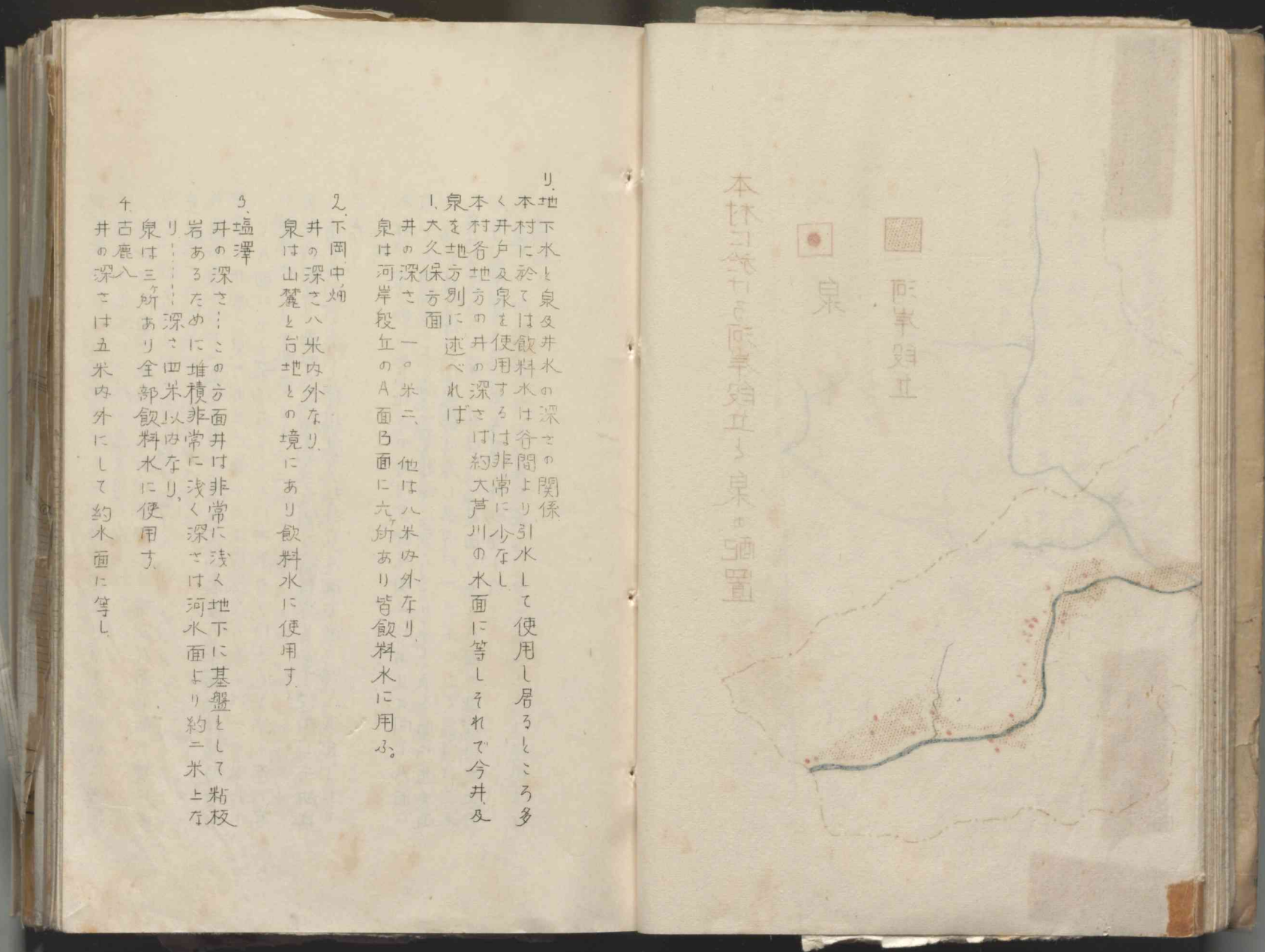
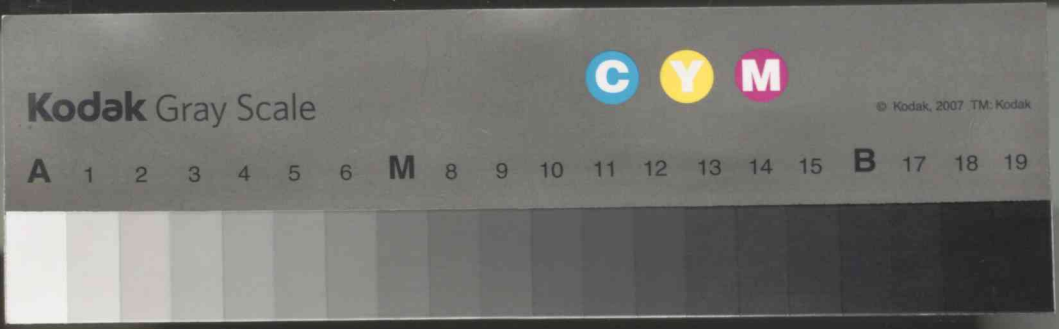
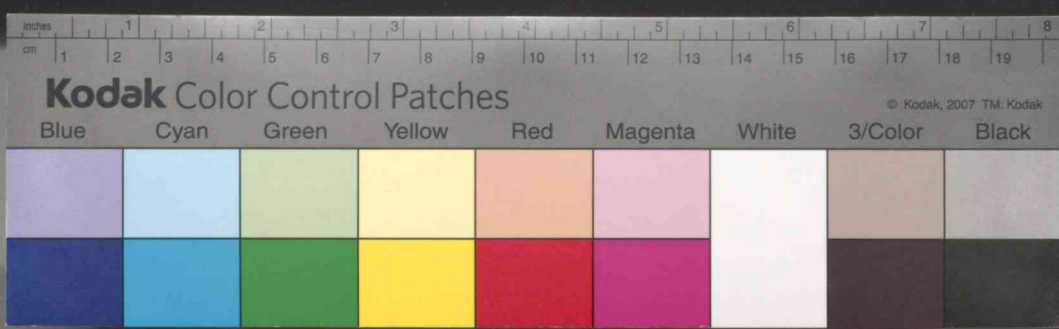


本村に於ける河岸段丘と泉の配置

■ 河岸段丘
● 泉

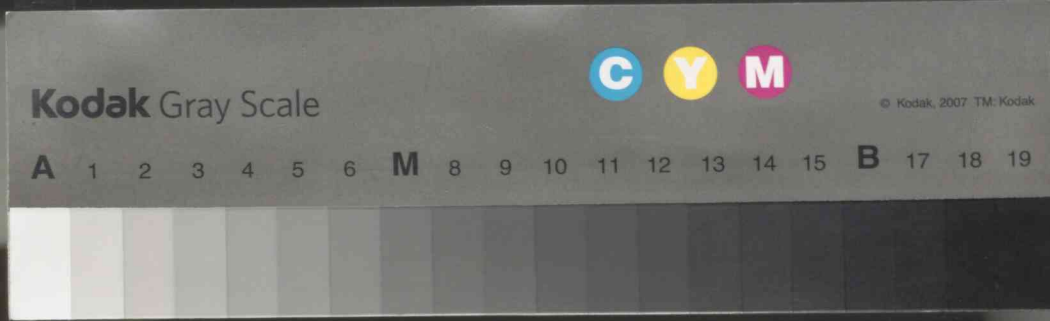
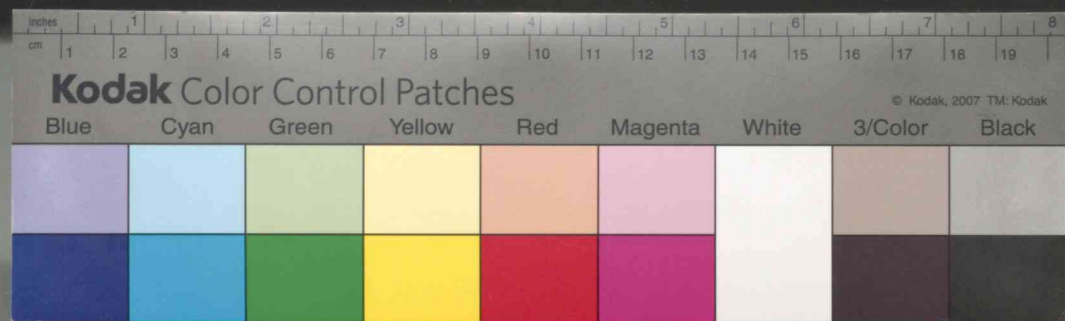
鹿入の段丘 A面―B面 五米 B面―C面 五米
内倉の段丘 A面―B面 七米
西ノ手の段丘 A面―B面 三五米 B面―C面 一二米
古越踏の段丘 A面―B面 五八米
原山の段丘 A面―B面 四六米





1. 泉本村各戸及泉を飲用するは谷間より引水して使用し居るところ多
 2. 下岡中畑井の深さハ米内外なり
 3. 塩澤井の深さ：この方面井は非常に浅く地下に基盤として粘板
 4. 古鹿入泉は三ヶ所あり全部飲料水に使用する
 5. 泉の深さは五米内外にして約水面に等し





7 内倉
井の深さ...この地方の井水面はほとんど河水面に等しく深さは
段立A面にあるもの三米五の
河岸段立B面にあるものは五米四の深さを有しこれは河水面
より約三米高き井水面を有す
泉はこの地方には唯一所あるのみにして場所は河岸段立A面と
洪逸地との境にある

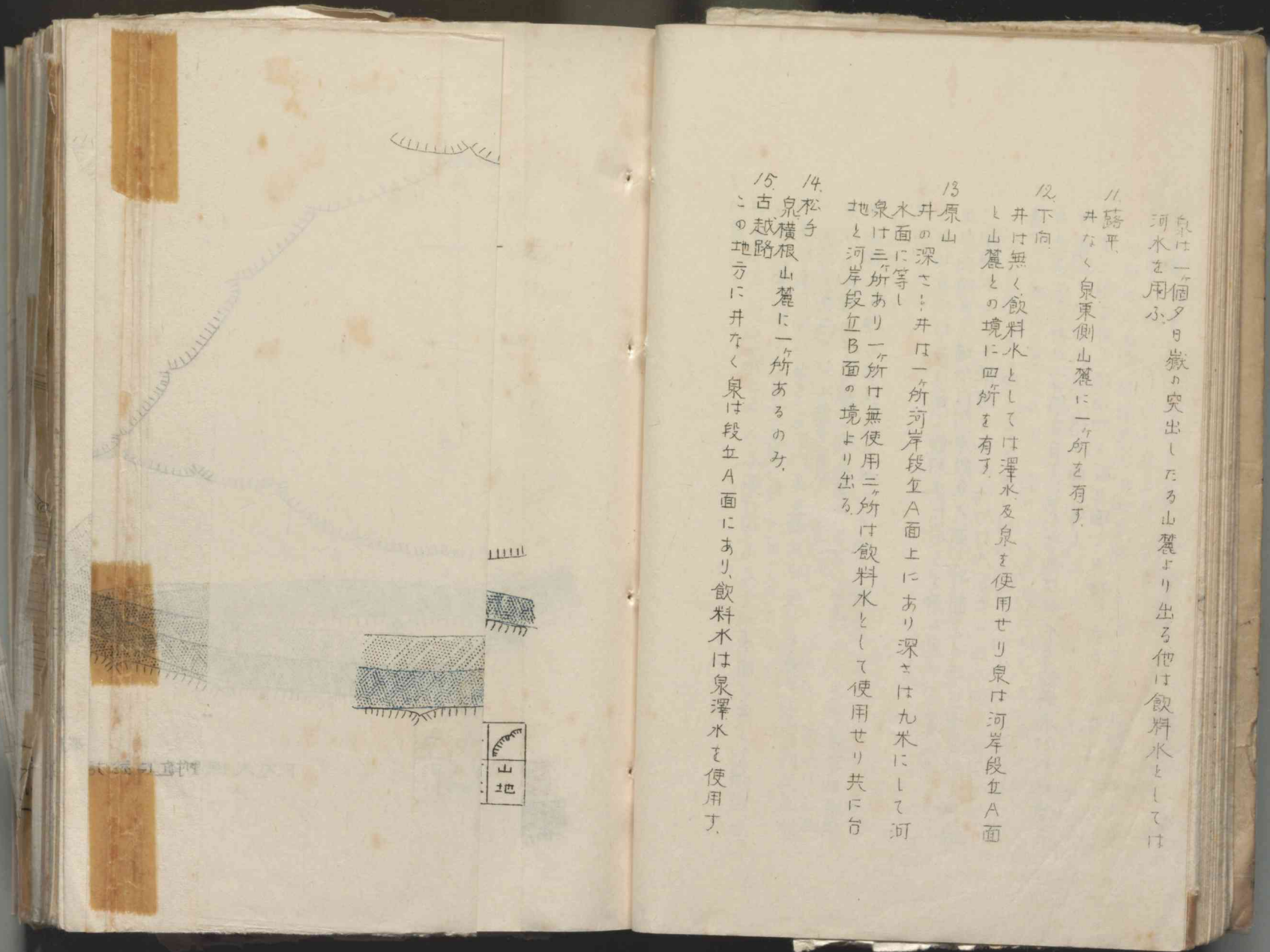
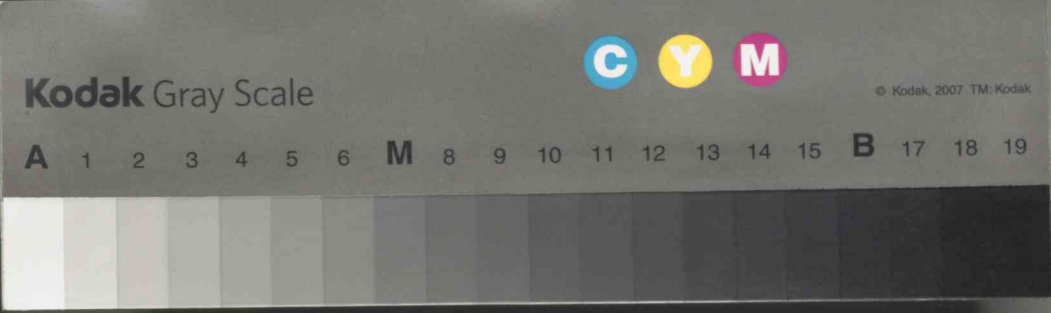
8 西手
この地方には井は無く飲料水は谷水を引入れて之を使用せり
泉は四所あり場所は河岸段立A面とB面との境にあり然し二所
は飲料水として使用するも二所は人家なき為に何も使用せず

9 猪合
井の深さ...井は一所を有するのみ他は谷水を飲料水として使用
せり深さは四米四六河水面に等し
泉は一個を有し洪逸地と段立面との境にあるのみなり
井は無し

5 鹿入
この地方は泉非常に多く出て各農家多く泉を飲料水に使用
せり大部分は八所の泉を有し居る
場所はA面河岸段立と河成平野との境及A面B面の境に多
し

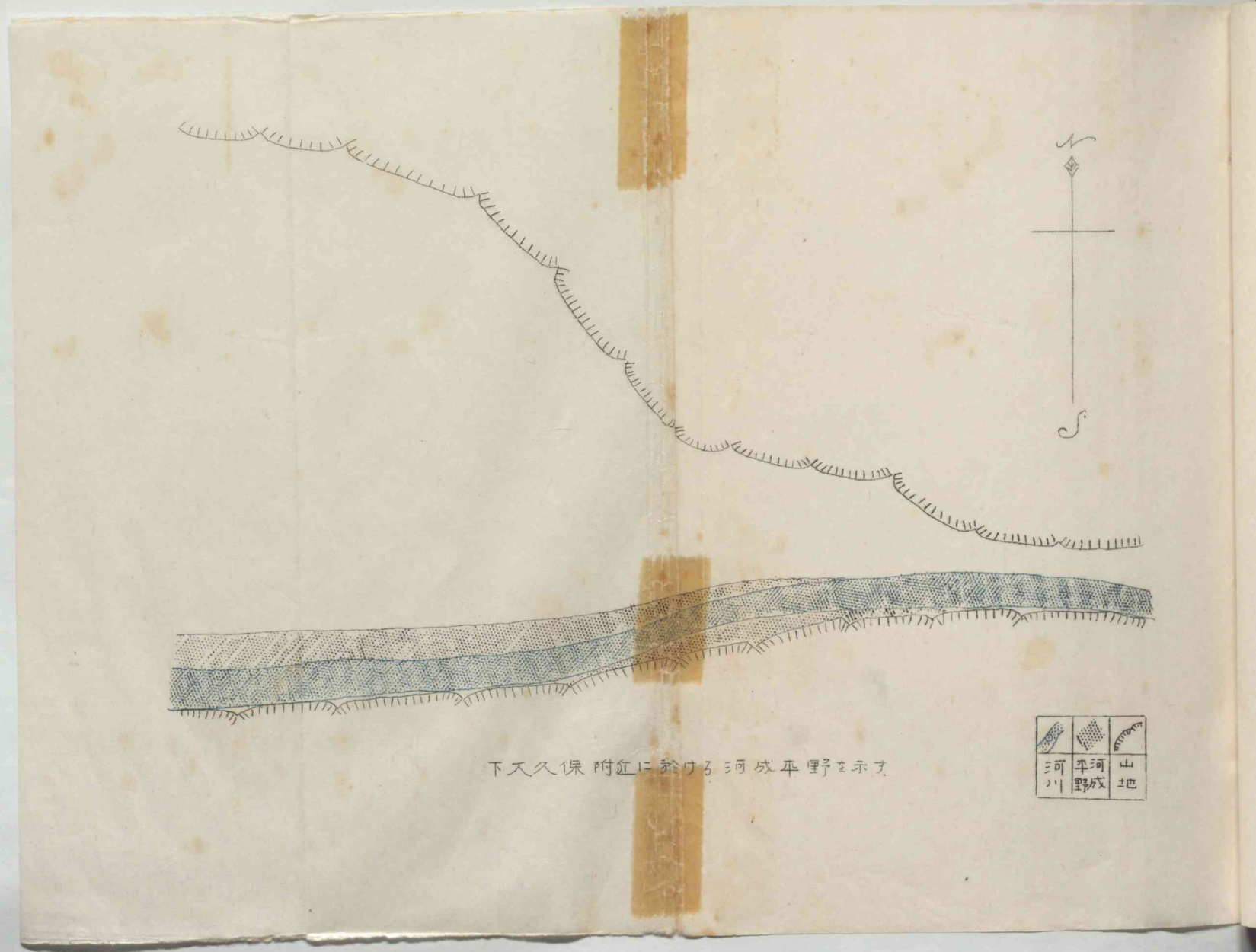
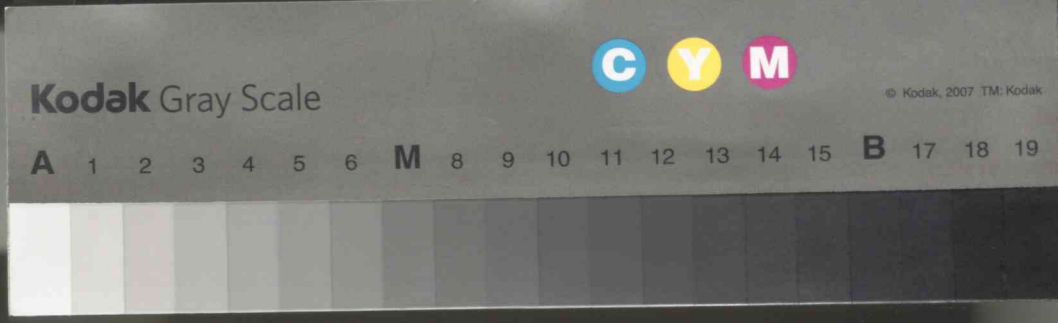
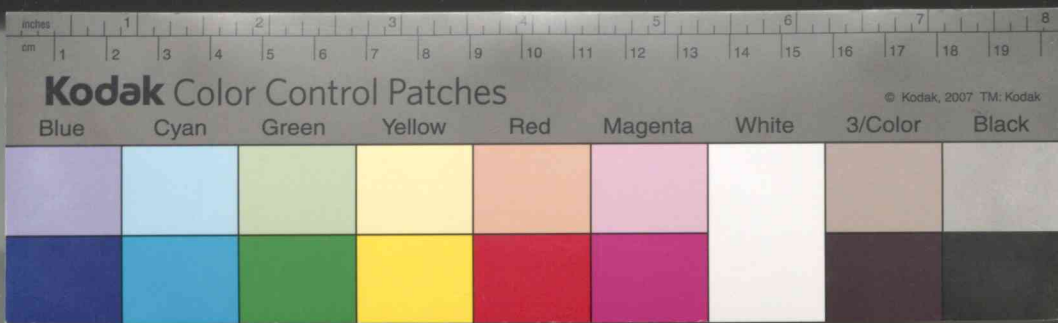
6 八岡
井の深さ...この地方の井は全部A面上にあり又同じA面に
ても場所により深さを非常に異にせりテーラ入面に近き面
端の井は深く中央部は浅し最深は一〇米にして最深は三米
なり但し一〇米の井は一つB面にありA面の最深は六米な
り河水面より一米上方に井水面を有す
泉は二所あるのみにしてA面上に生ずるもなり使用法は
飲料水とす





11 踏平
 井なく泉東側山麓に一ヶ所を有す。
 12 下向
 井け無く飲料水としては澤水及泉を使用せり泉け河岸段立A面
 と山麓との境に四所を有す。
 13 原山
 井の深さ一ヶ所河岸段立A面上にあり深さは九米にして河
 水面に等し
 泉け三ヶ所あり一ヶ所け無使用ニヶ所け飲料水として使用せり共に台
 地と河岸段立B面の境より出る。
 14 松手
 泉横根山麓に一ヶ所あるのみ。
 15 古越路
 この地方に井なく泉け段立A面にあり飲料水は泉澤水を使用す。

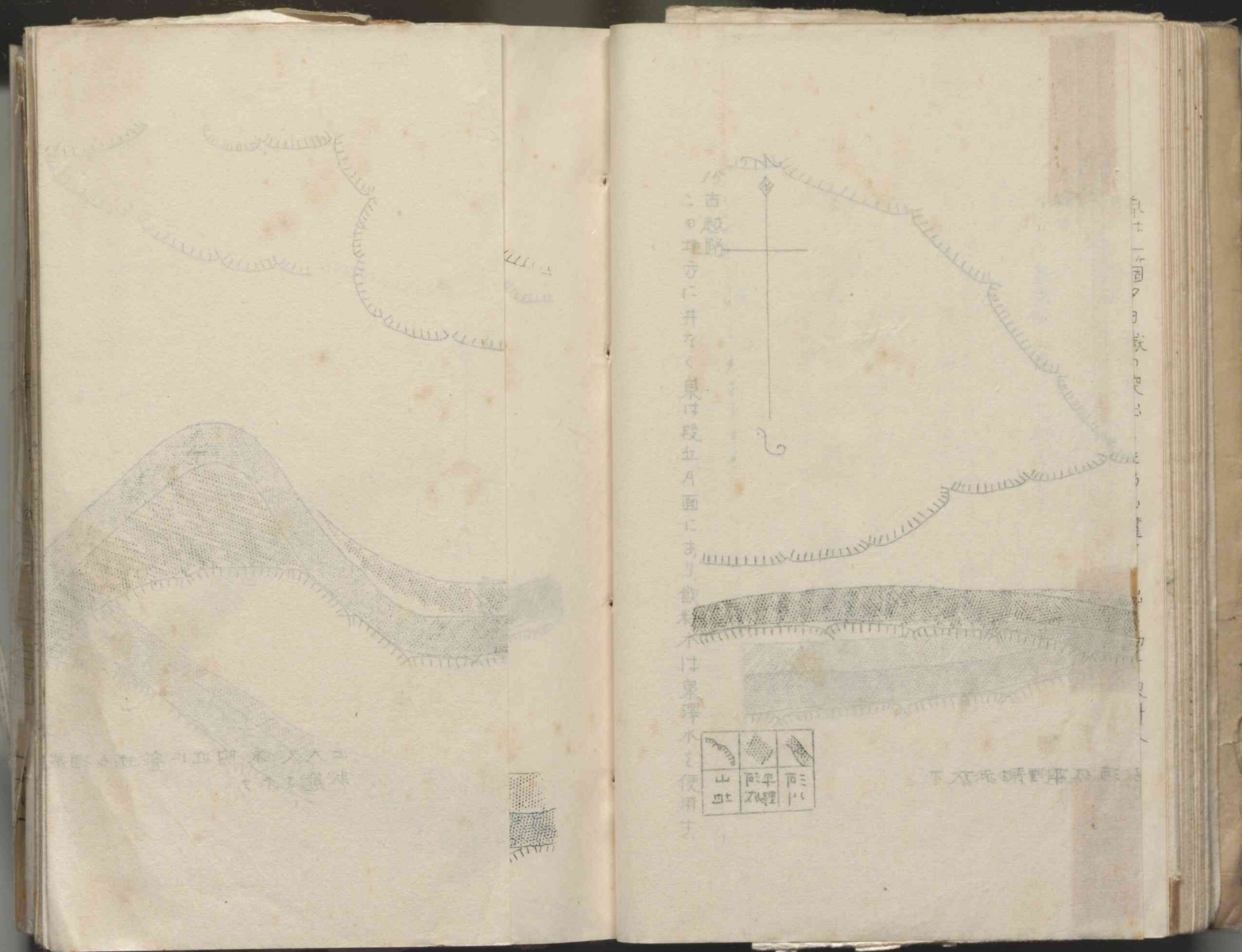
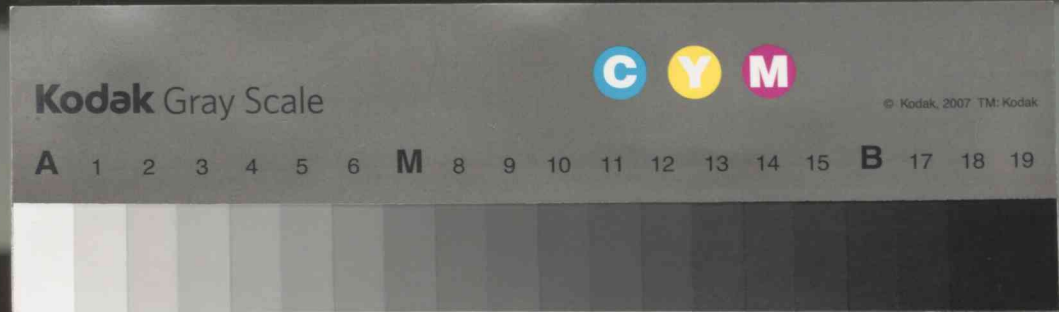




13 原山
 井の深さ！井は一ヶ所河岸段立A面上にあり深さは九米にして河
 水面に等し
 泉は三ヶ所あり一ヶ所は無使用三ヶ所は飲料水として使用せり共に台
 地と河岸段立B面の境より出る
 14. 松手
 泉横根山麓に一ヶ所あるのみ
 15. 古越路
 この地方に井なく泉は段立A面にあり飲料水は泉澤水を使用す

下久保附近に於ける河成平野を示す

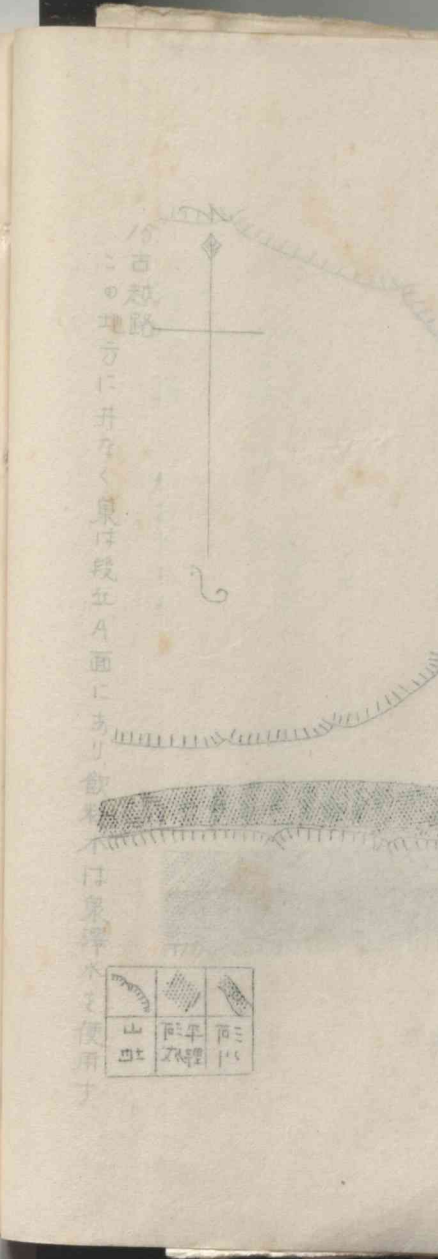
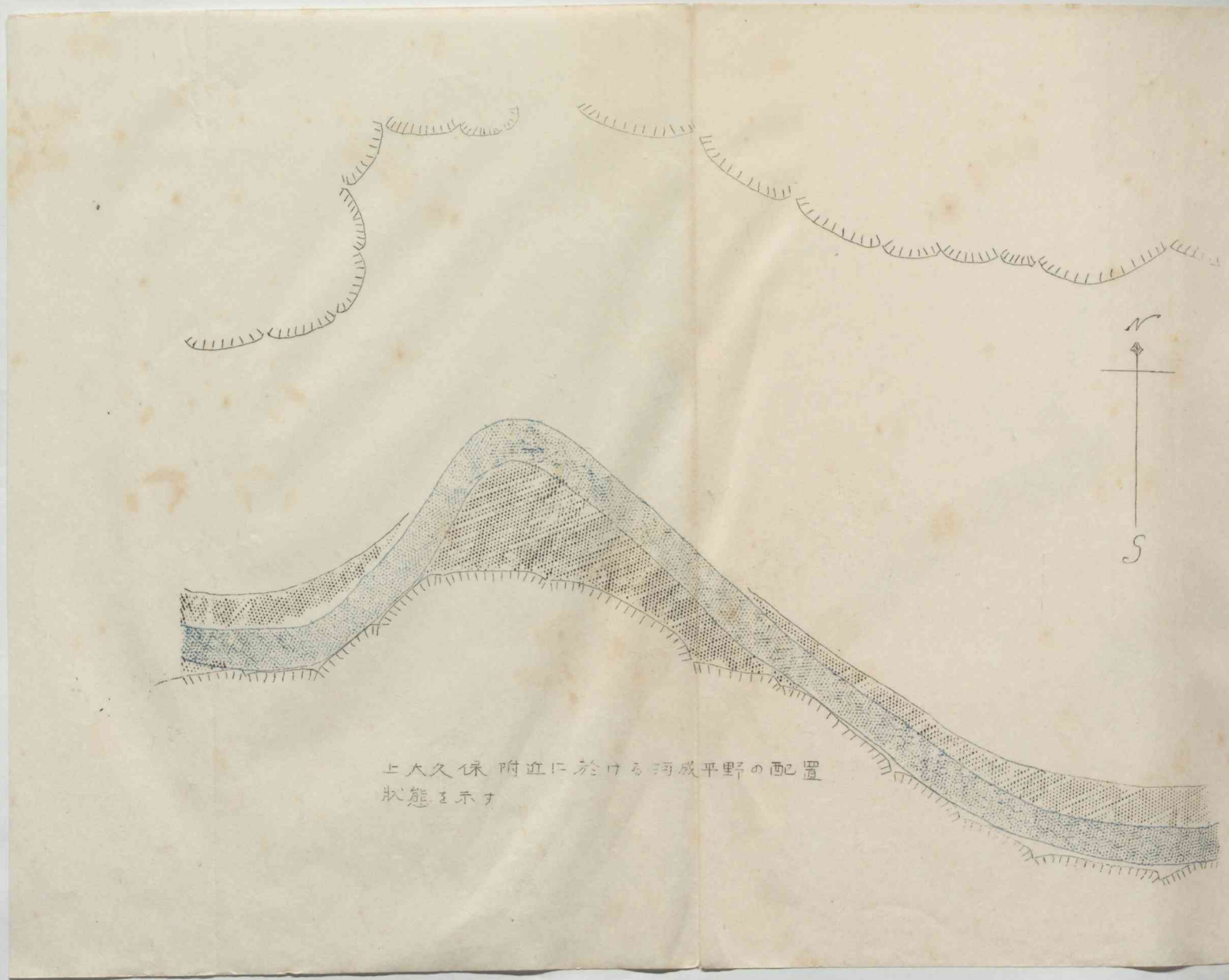
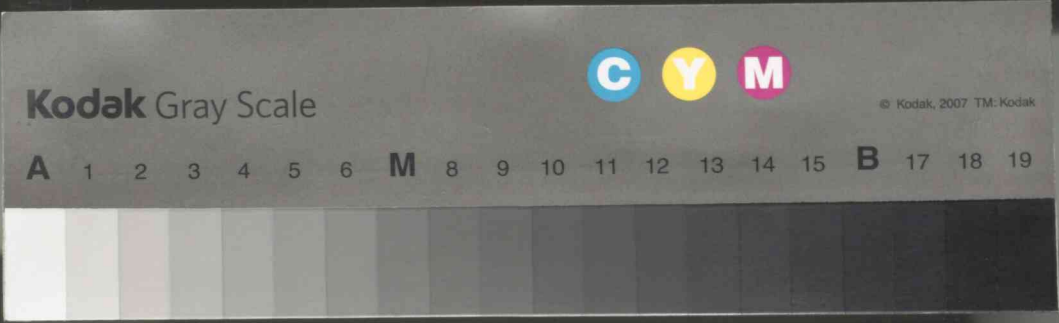


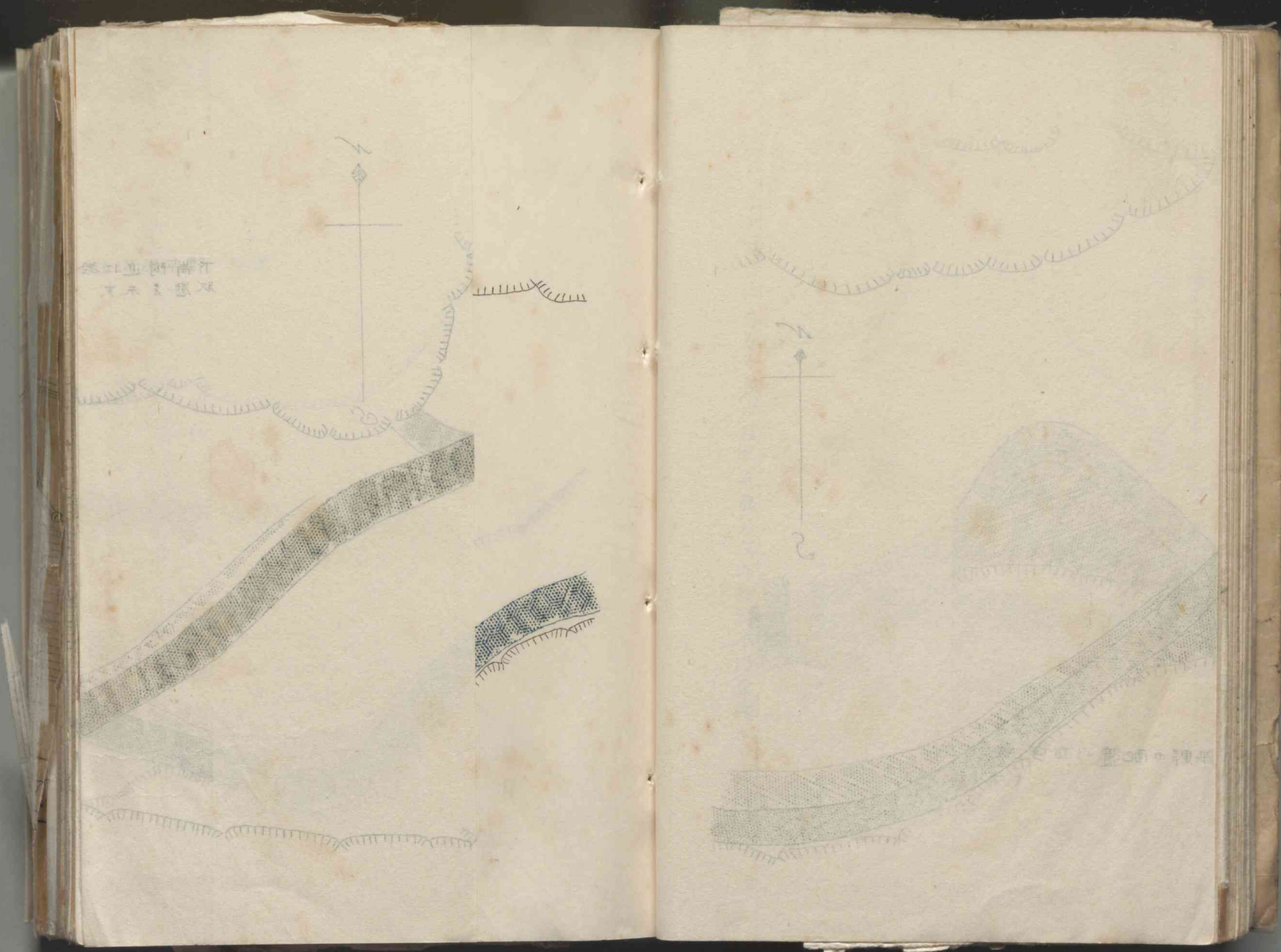
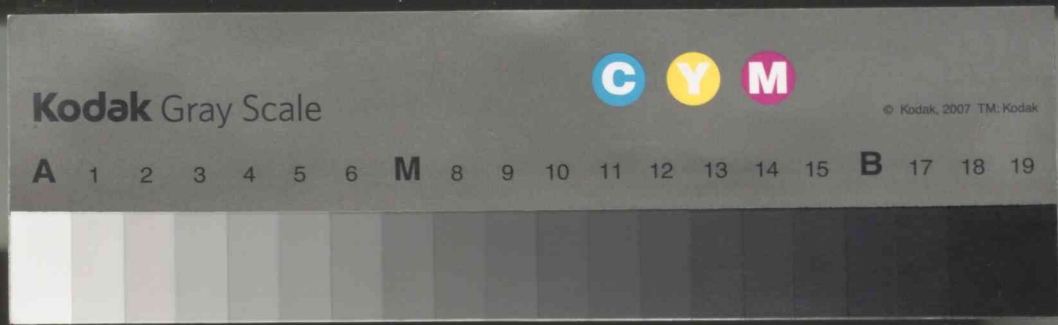
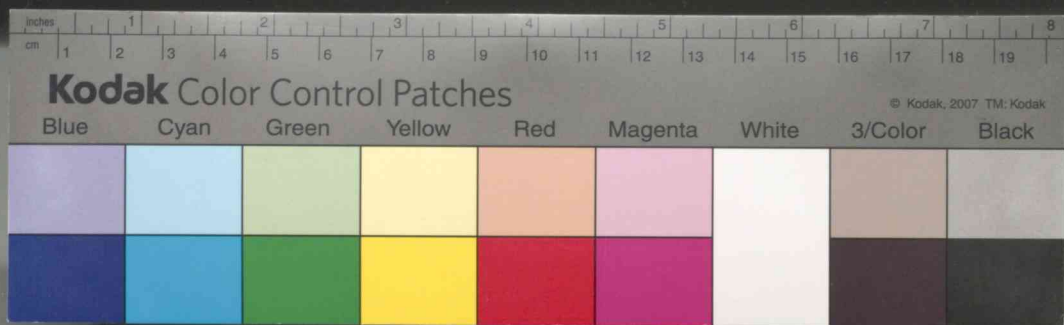


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13



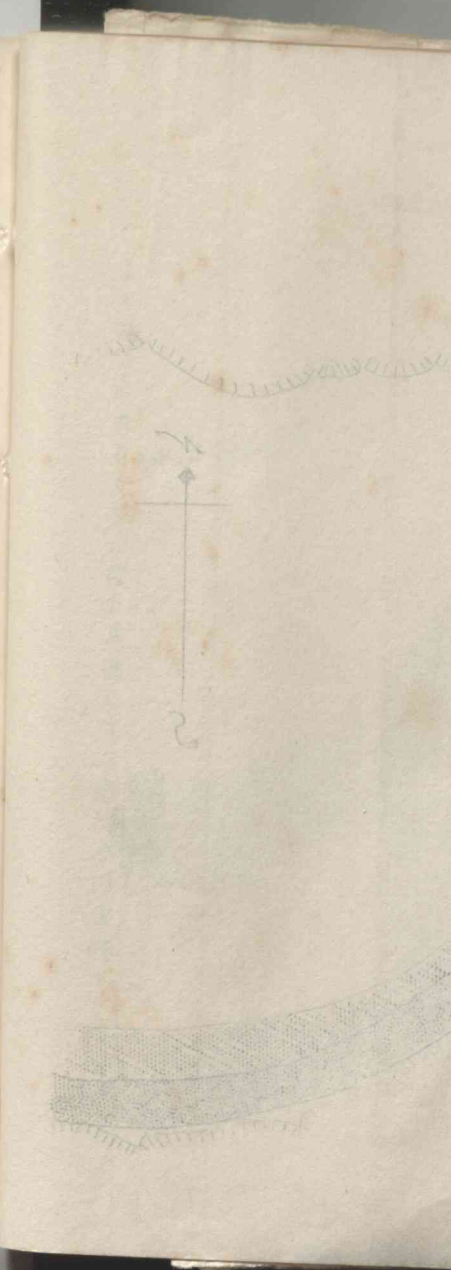
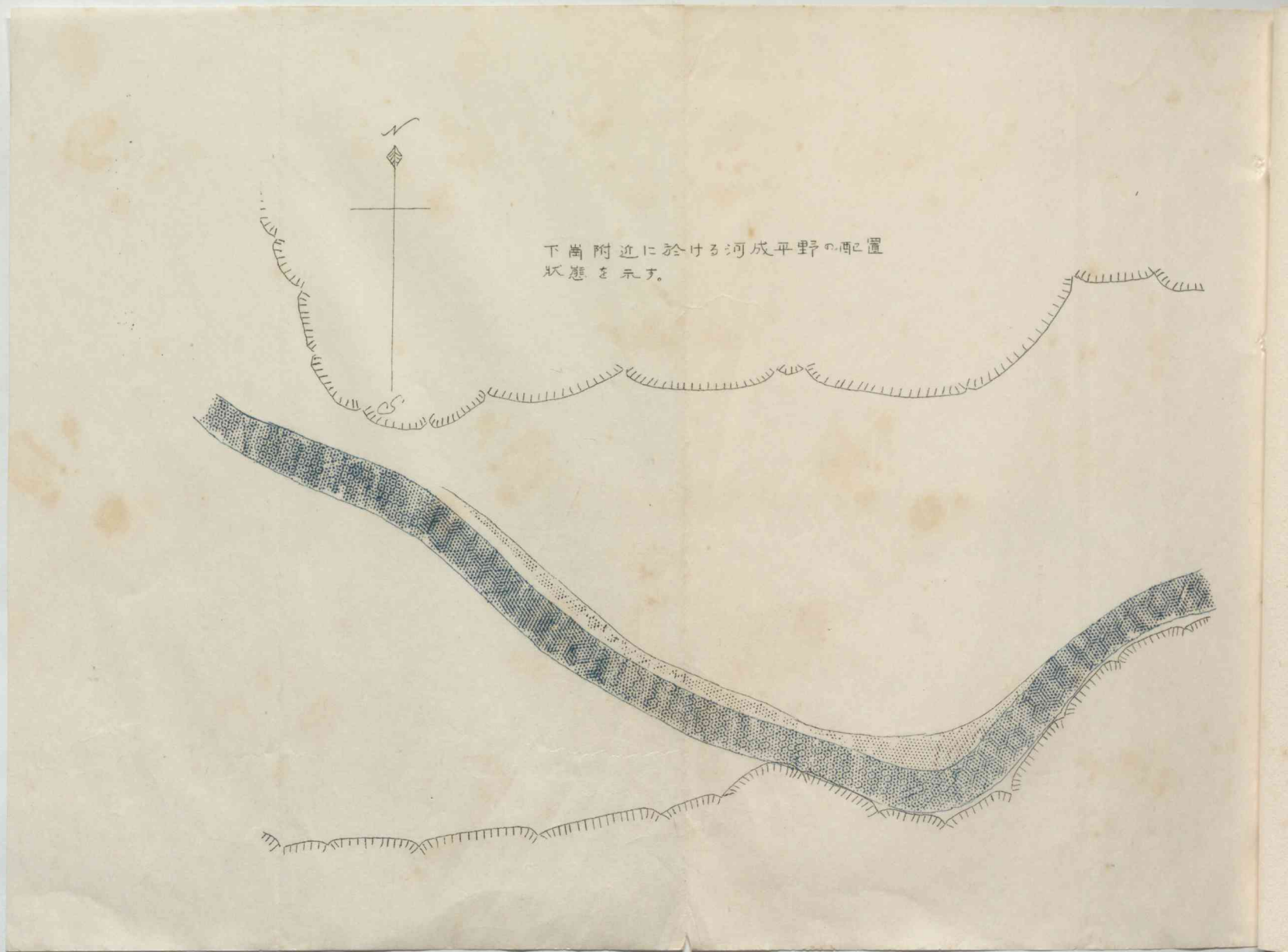
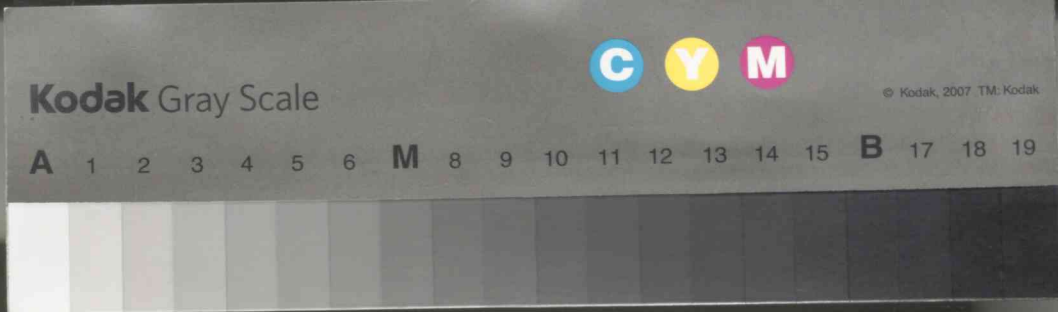


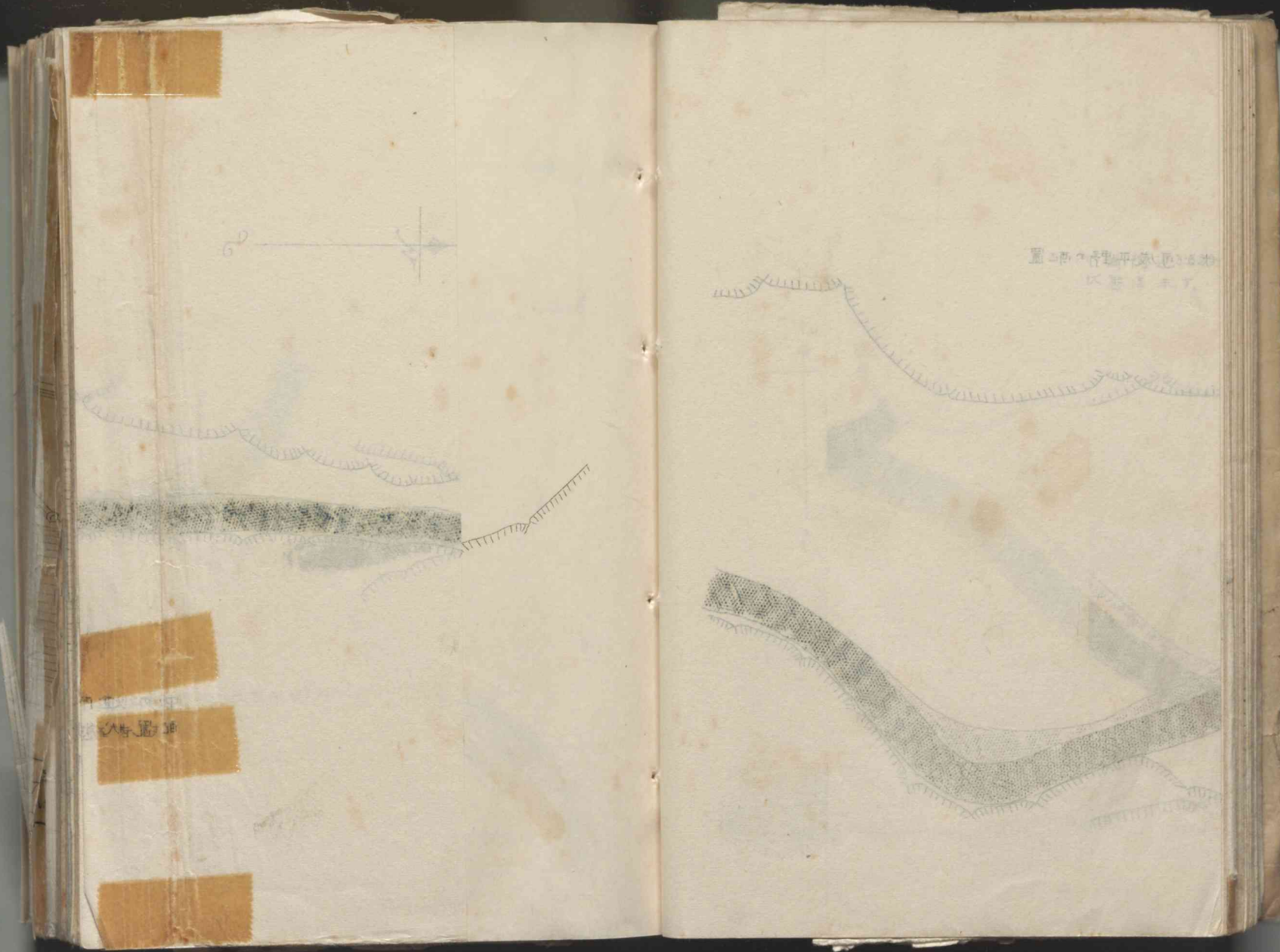
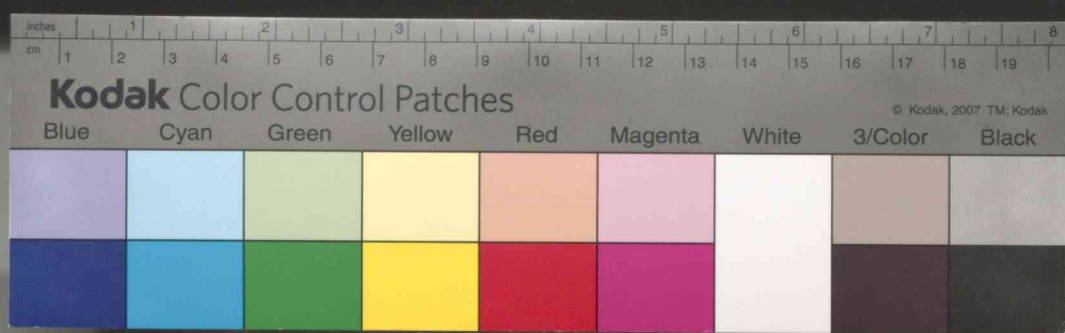


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13



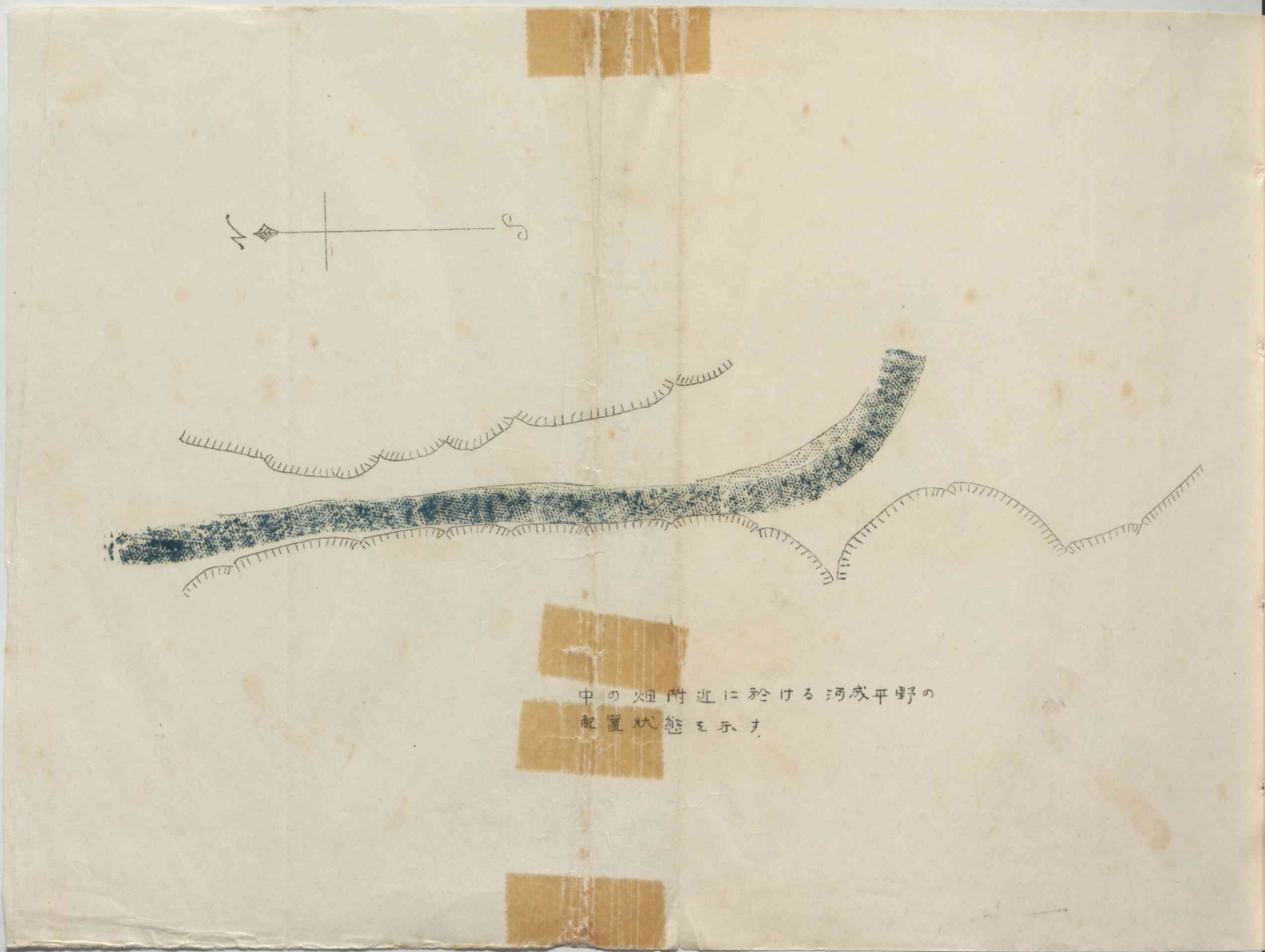
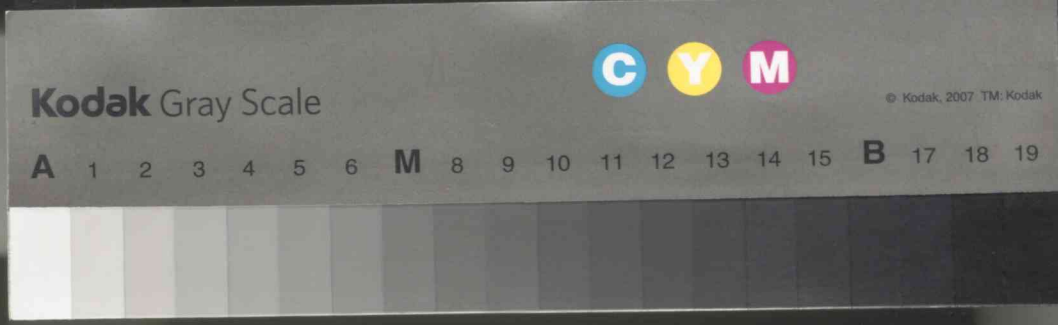
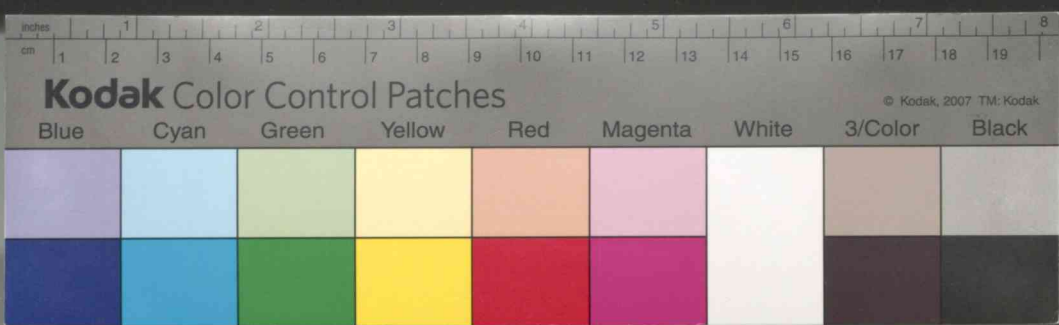




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

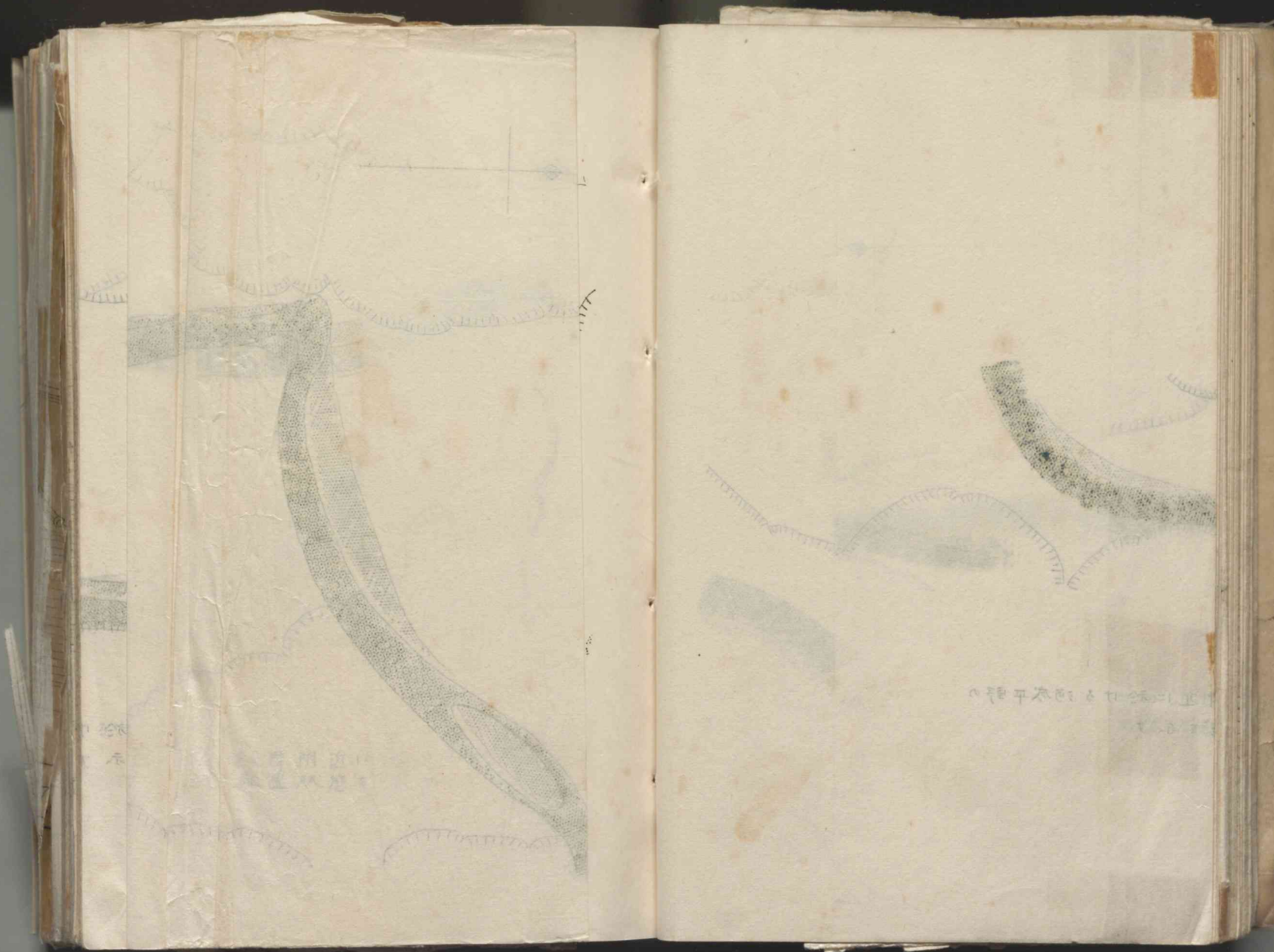
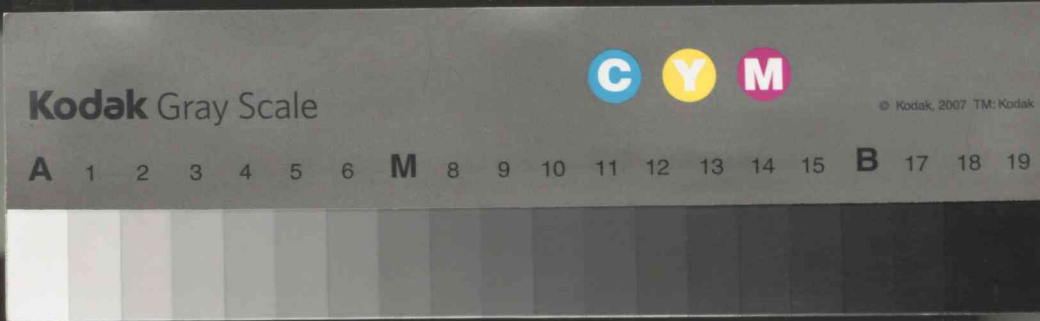
13





中の畑附近に於ける河成平野の
配置状態を示す

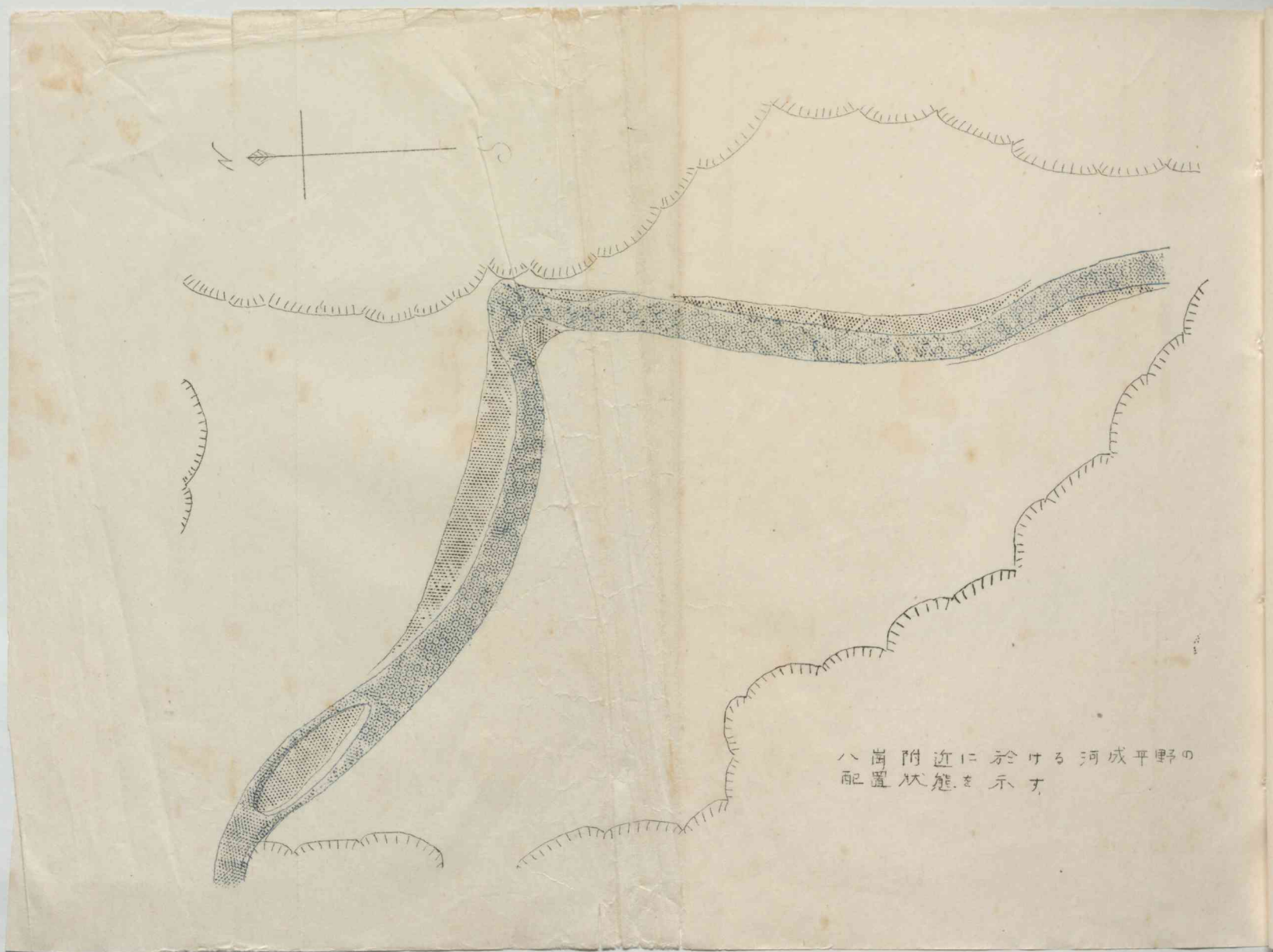
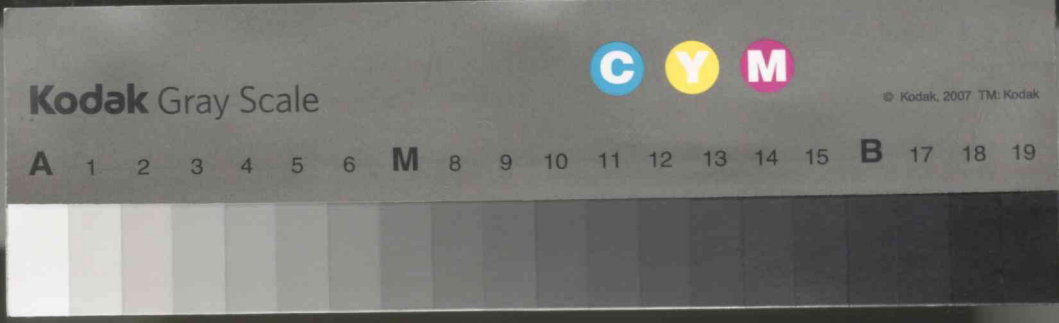




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

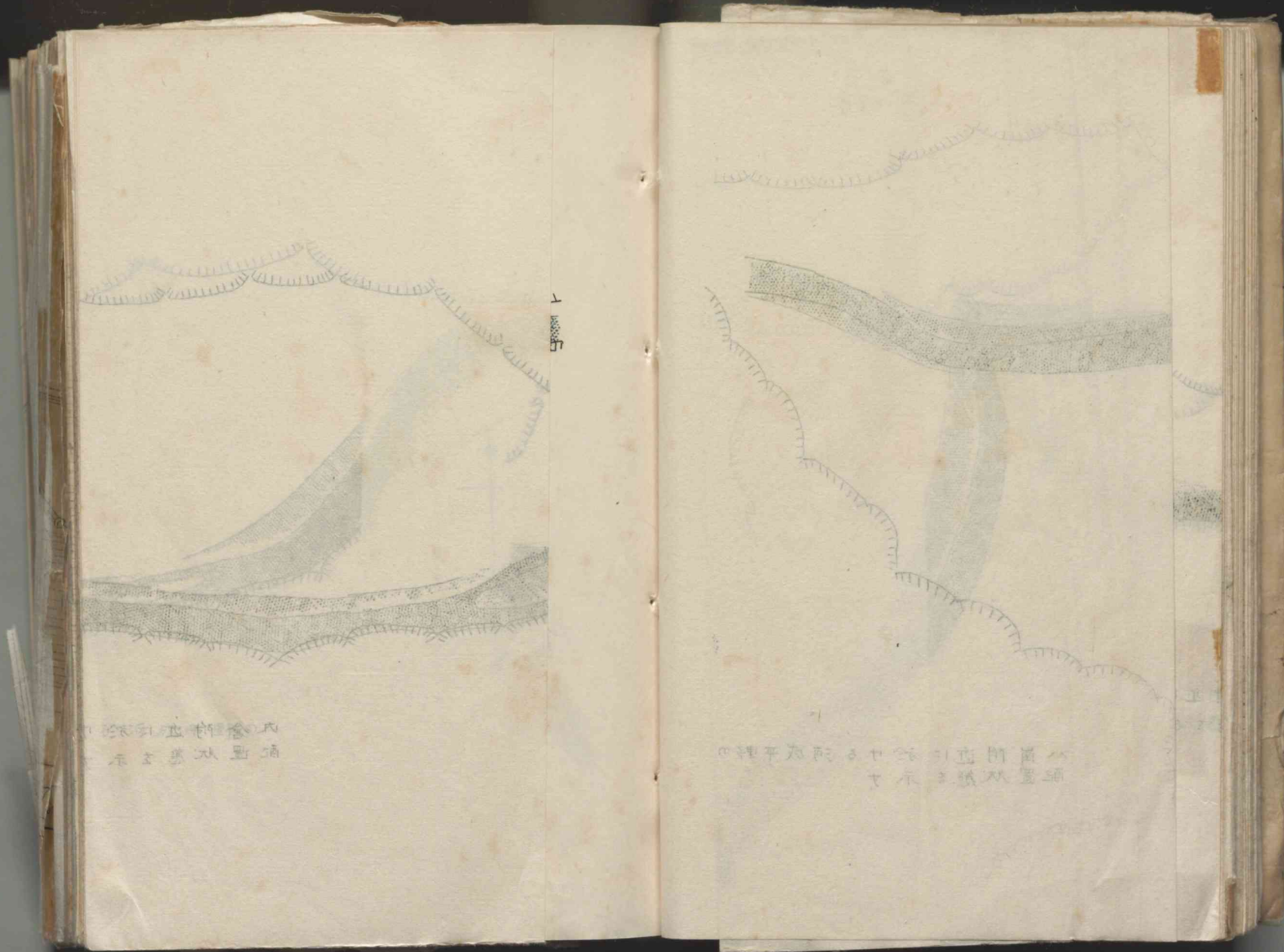
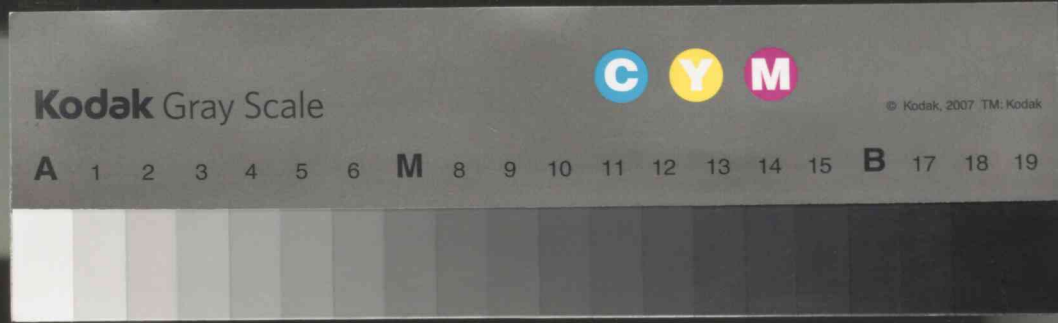
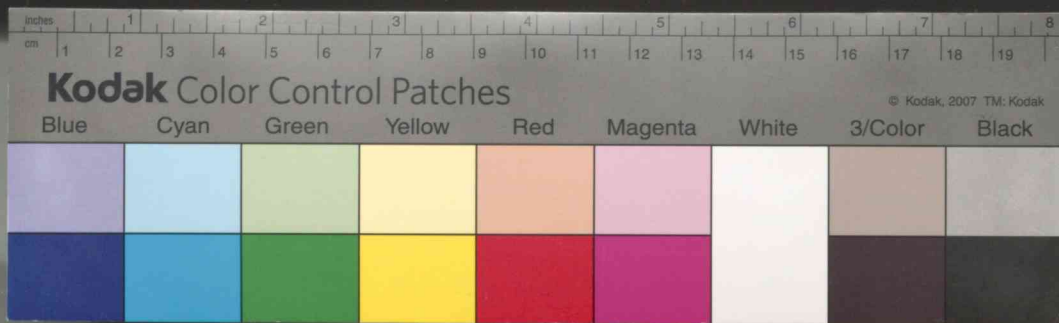
13

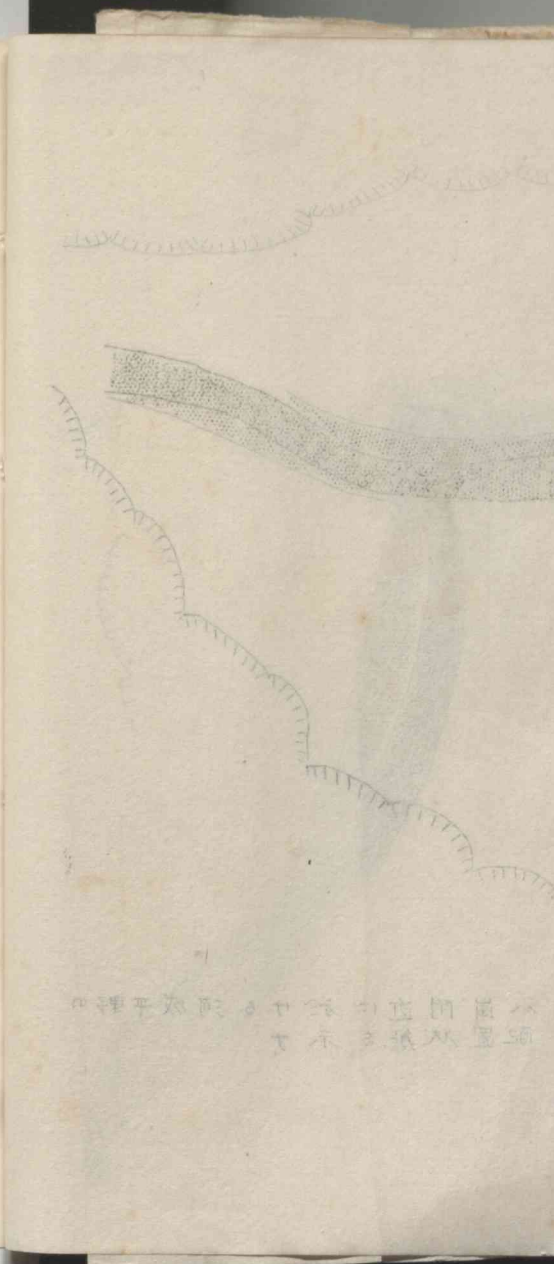
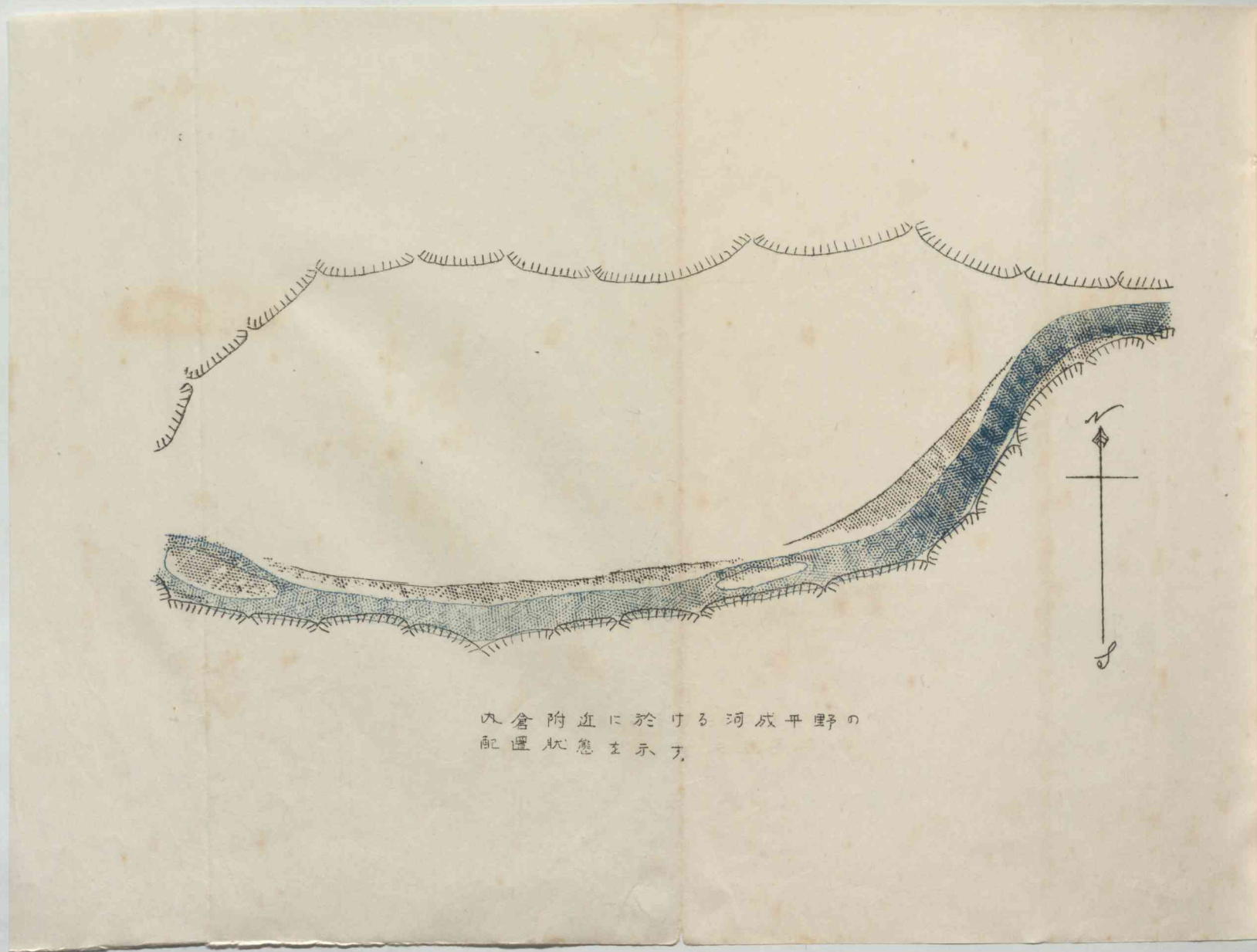
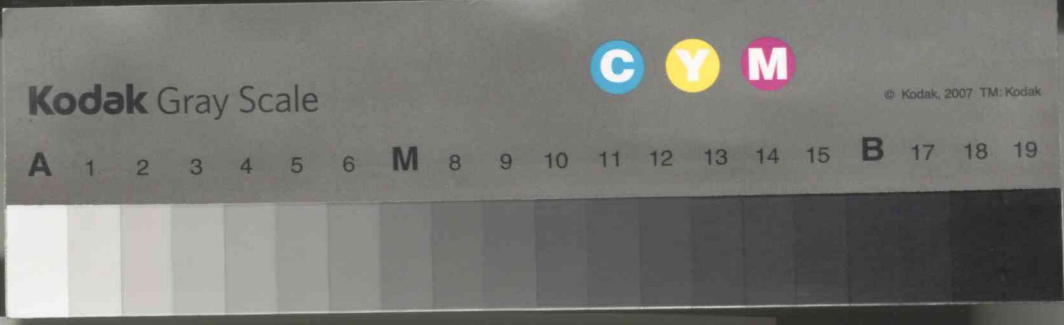
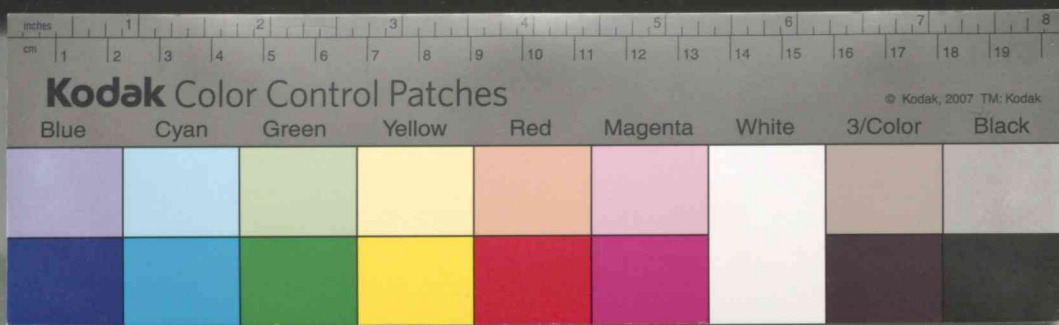


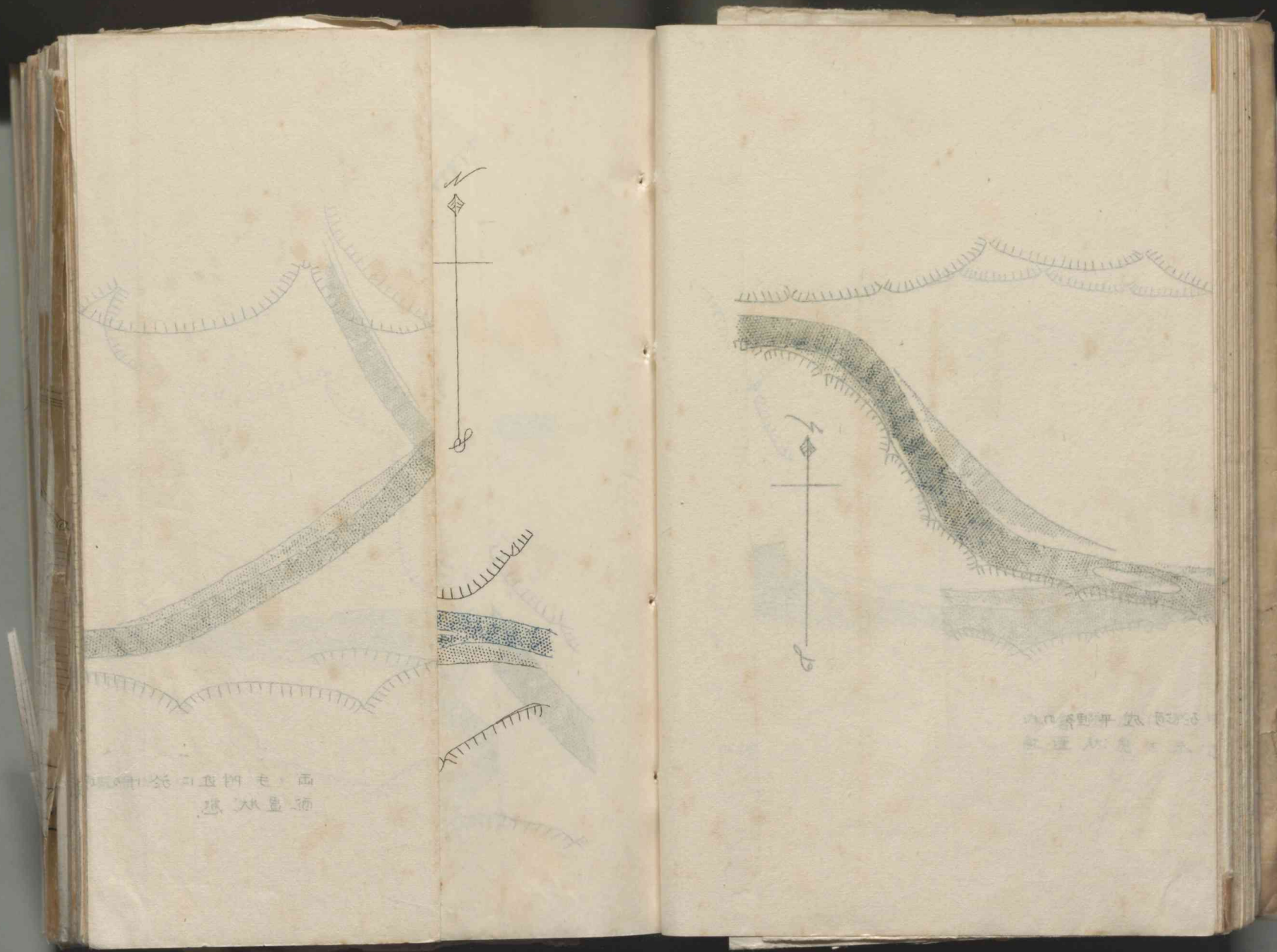
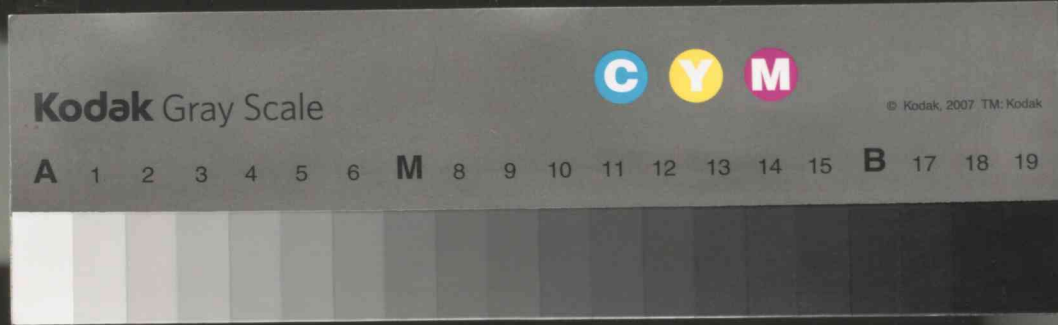


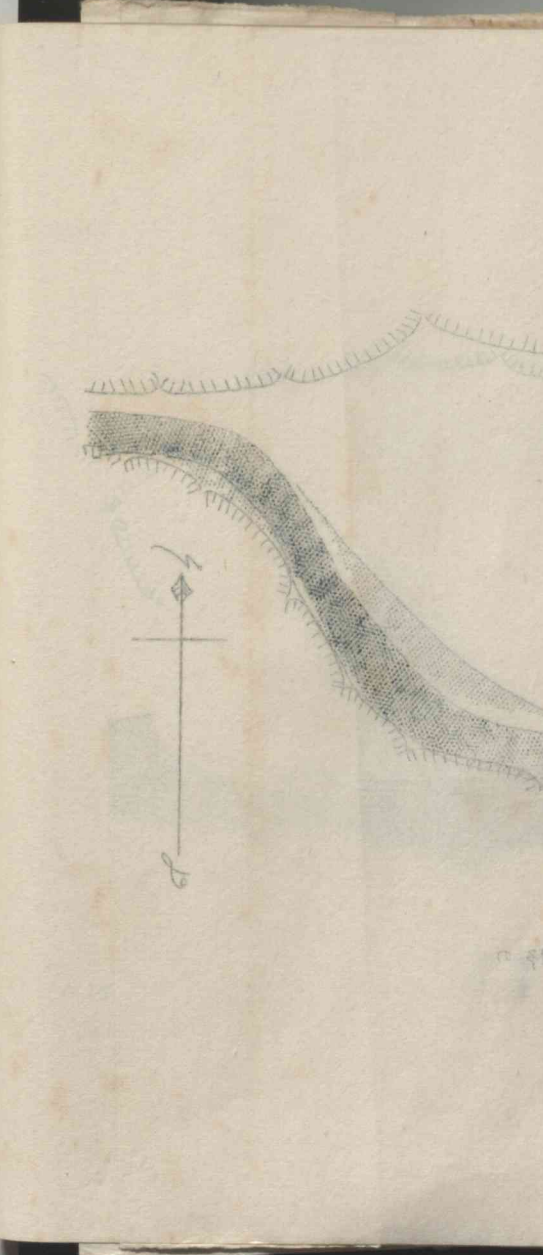
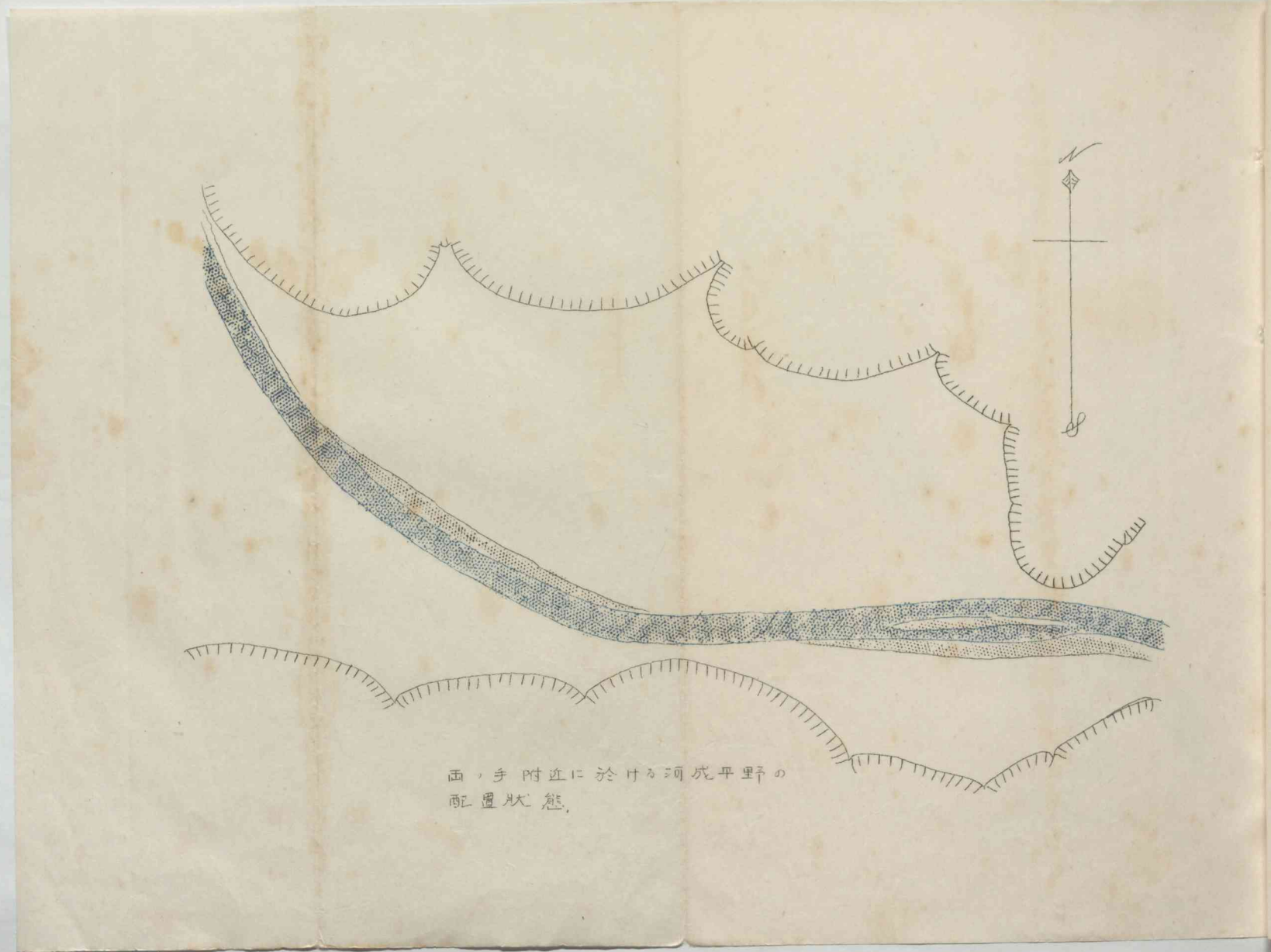
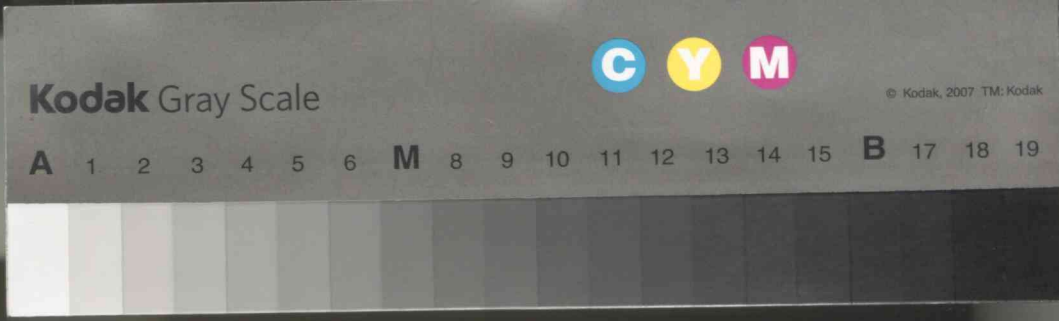
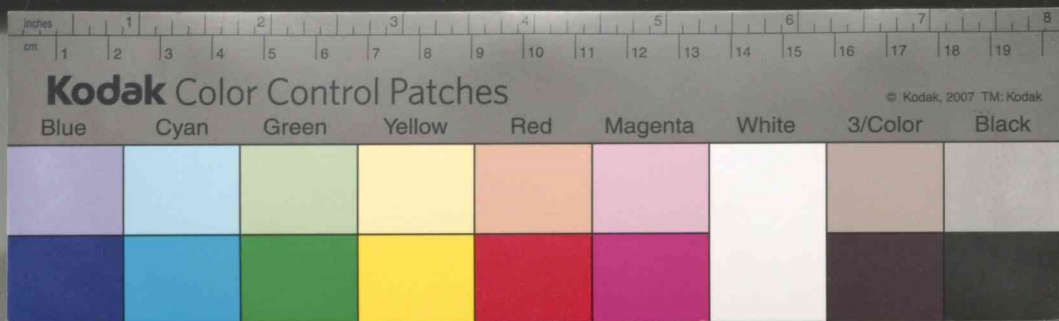
八岡附近に於ける河成平野の
配置状態を示す











両、手附近に於ける河成平野の
配置状態

